

第 30 号(平成 30 年度分)

広島県立文書館 事業年報

歴史資料は 過去・現在・未来をつなぐ 私たちの財産です

もんじょかん
広島県立文書館

目 次

I 概 要

1 設置目的	1
2 業務内容	1
3 沿革	1
4 施設・設備	2
5 組織及び職員構成	3
6 文書館運営予算	4
7 収蔵資料	4
8 各階平面図	5

II 事業報告

1 収集	6
2 整理	16
3 保存	18
4 利用	22
5 展示・普及啓発	24
6 研究・研修・調査	29
7 その他	30
8 業務日誌	32

III 法律・条例・規則

1 公文書館法	37
2 広島県立文書館設置及び管理条例	37
3 広島県立文書館管理規則	37
4 広島県文書等管理規則（抜粋）	39
5 広島県文書等管理規程（抜粋）	39
（利用案内）	40

I 概要

1 設置目的

文書館は、広島県に関する歴史的資料として重要な行政文書、古文書、その他の記録（以下「文書等」という。）を収集し、及び保存するとともに、これらの利用を図り、もって学術及び文化の発展に寄与することを目的としている。（広島県立文書館設置及び管理条例第1条）

2 業務内容

- (1) 文書等の収集、整理及び保存に関すること
- (2) 文書等の利用に関すること
- (3) 文書等の調査及び研究に関すること
- (4) 文書等についての専門的な知識の普及啓発に関すること
- (5) 文書等の目録、史誌、資料集等の編さん及び刊行に関すること
- (6) その他文書館の目的を達成するために必要な事業に関すること

3 沿革

昭和34年	11月	「公文書散逸防止について」日本学術会議が勧告
40年	1月	広島県立文書館設立期成会（代表 福尾広島大学教授）が組織され、文書館の設立及び官公庁の廃棄文書選別保存の必要性について関係方面へ運動を開始
41年	3月	広島県廃棄行政文書の選別収集を開始
43年	4月	広島県史編さん事業を開始
57年	2月	県立文書館建設調査研究協議会（55年10月発足、会長：今堀誠二広島女子大学学長）が知事に「広島県立文書館基本構想についての報告書」を提出
59年	3月	広島県史編さん事業が完了（昭和43年から16年間、全27巻）
	12月	広島大学跡地利用研究協議会（会長 荒木武広島市長）が跡地利用計画の最終案を決定 県立文書館、県立図書館、県立産業技術交流センターによる複合施設（仮称情報プラザ）として建設することが決定
63年	3月	広島県情報プラザ完成
	4月	総務部総務課に県立文書館開館準備担当を設置（広島県情報プラザ（文書館）で勤務）
	6月	公文書館法施行
	10月	広島県立文書館開館 広島県情報プラザ（文書館）落成式挙行 開館記念特別講演会を広島県情報プラザで開催
平成元年	10月	第15回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会を広島県情報プラザで開催
5年	10月	開館5周年記念講演会を広島県情報プラザで開催
6年	6月	第6回都道府県・政令指定都市公文書館長会議を広島県情報プラザで開催
10年	5月	開館10周年記念パネル展を広島県情報プラザで開催
15年	3月	広島県のホームページに県立文書館ホームページを開設
15年	4月	中間書庫（広島市南区出汐二丁目旧地方公務員研修所）の使用開始
18年	2月	中間書庫を旧地方公務員研修所から旧観音職員寮（広島市西区観音新町四丁目）へ移転
20年	10月	開館20周年記念リバイバル展及び記念講演会を開催
23年	9月	広島大学文書館と「災害等の発生に伴う史・資料保護に関する相互協力協定書」を締結
24年	11月	第38回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会を広島県民文化センター・鯉城

25年	1月	会館で開催
26年	4月	当館寄託「福山市・山野村役場文書」が広島県重要文化財に指定
30年	9月	中間書庫として旧県立白木高校（広島市安佐北区白木町秋山 1210-1）の教室を確保 開館 30 周年記念講演会を開催

4 施設・設備

県立文書館（総務局所属）は、県立図書館（教育委員会所属）、県立産業技術交流センター（商工労働局所管）と共に「広島県情報プラザ」の中に配置されている。

(1) 情報プラザ

所在地	広島市中区千田町三丁目7番47号			
用途地域	住居地域（建ぺい率60%，容積率200%）			
防火指定	準防火地域			
敷地面積	10,015.78㎡			
建築面積	5,666㎡			
延床面積	23,674㎡	内訳	文書館	2,530㎡
			図書館	6,190㎡
			産業技術交流センター	2,000㎡
			交流フロア	2,880㎡
			共有部分	10,074㎡

工期 昭和61年6月～昭和63年3月 総事業費 10,481,970千円（うち、用地取得費 2,905,734千円）

(2) 文書館

ア 情報プラザ内（主要な専用部分のみ）

区分	面積（㎡）	仕様等
閲覧室	203	21席
閲覧準備室	35	8席
展示室	90	ハロンガス消火設備
		固定展示ケース2面（延長22.4m）
研修・会議室	94	62人収容
調査研究室	43	書架（密集式）延長451m
事務室	102	
館長室	22	
マイクロ撮影室	35	
製本補修室	29	和室6畳付
マイクロ保管庫	36	24時間空調，ハロンガス消火設備
第1書庫	103	古文書用，24時間空調，2時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面～防湿用発泡ウレタン吹付けの上，調湿板仕上 天井～防湿用発泡ウレタン吹付けの上，調湿用岩面板仕上 書架（密集）延長1,314m

第2書庫	77	複製本用，2時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面・天井は，第1書庫と同じ仕様 書架（密集）延長 932m
第3書庫	17	貴重書庫，24時間空調，2時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面・天井は，第1書庫と同じ仕様 書架延長 34m
第4書庫	367	古文書用，24時間空調，2時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面・天井は，第1書庫と同じ仕様 書架延長 1,432m *
第5書庫	481	行政文書用，24時間空調，2時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面・天井は，第1書庫と同じ仕様 書架（密集）延長 6,085m
旧消毒室	52	平成23年度に燻蒸設備をすべて撤去し，書架を配置した。 平成24年度から書庫として活用している。 書架延長 400m
荷解整理室	95	書架延長 100m

※ 書架延長（第1書庫～第5書庫，旧消毒室・荷解整理室） 10,297m

※ 24時間空調の設定条件：温度 25度以下，湿度 55～60%

* 平成30年度，第4書庫の固定書架の一部（74.5m）を白木書庫などに移設し，新たに移動式書架（139.5m）とキャスター付き書架5台（36m）を増設した。

イ 中間書庫

平成15年4月1日，旧広島県地方公務員研修所（広島市南区出汐二丁目）を中間書庫として使用開始した。その後，平成18年2月28日，中間書庫を旧広島県観音職員寮（広島市西区観音新町四丁目）へ移転した。書架延長 2,672m（平成31年3月31日現在）。

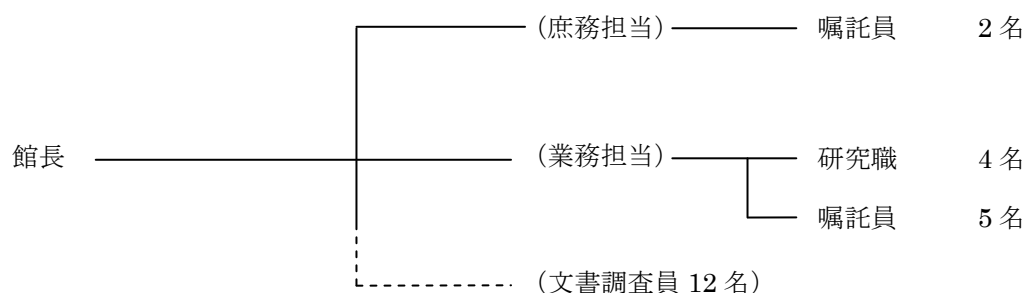
また，平成26年度より旧白木高校跡施設（安佐北区白木町秋山）を中間書庫として利用している。書架延長 760m（平成31年3月31日現在）。

5 組織及び職員構成（平成30年4月1日現在）

(1) 職員定数

12名（常勤職員5名，嘱託員7名）

(2) 組織の状況



(3) 文書調査員

ア 委嘱

県内における歴史的資料の所在、保存状況等を把握するため、次の12名を委嘱した。

石田雅春	井長整次	折田恵子	菅 信博
高橋孝二	高橋 朋	竹本省三	中畑和彦
藤井岑雄	三浦 忍	宮原千香子	宮本住逸

イ 文書調査員会議

6月15日（金）に文書調査員会議を開催した。議題は次のとおりである。

- 議題
- 1 平成30年度事業計画等について
 - 2 県内所在文書の調査状況と課題
 - 3 調査員業務の成果と課題

6 文書館運営予算（年度別当初予算）

（単位：千円）

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
文書館運営費	6,398	6,329	8,506	11,081	11,613
嘱託員等人件費	21,149	20,175	20,826	15,260	15,447
施設維持費	11,060	11,061	11,061	11,384	11,384
大規模修繕費	3,209	53,638	173	12,221	12,663
計	41,816	91,203	40,566	49,946	51,107

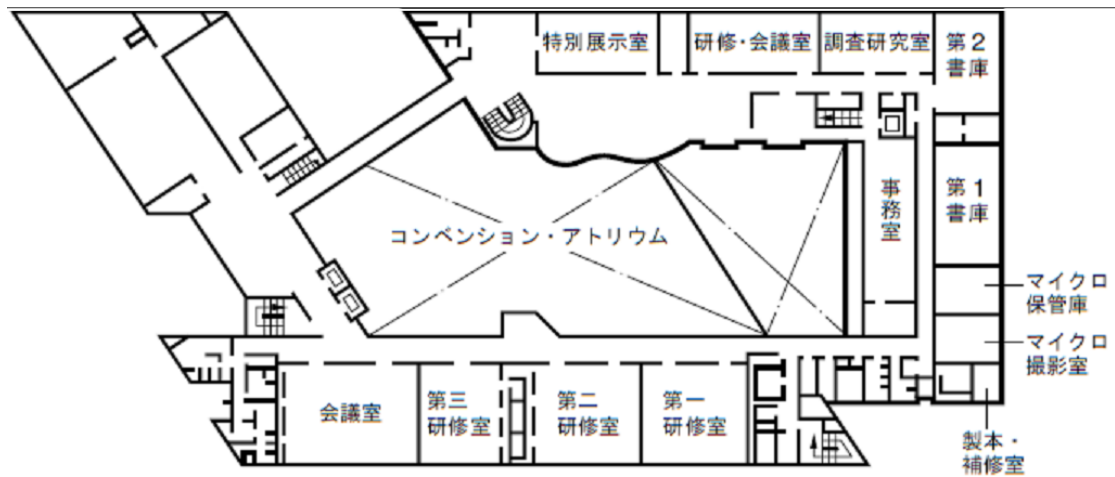
7 収蔵資料

平成30年度末現在の収蔵資料は、次のとおりである。

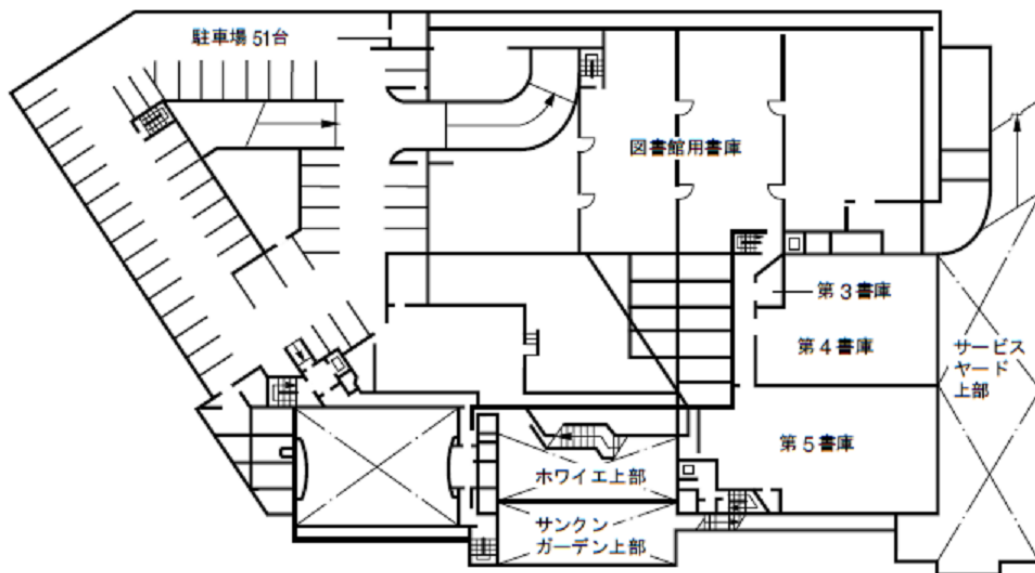
平成31年3月31日現在

種 類	内 容	現有資料数
行政文書	保存年限が満了した県の行政文書の中から、将来、歴史資料として価値があるものとして選別したもの、及び長期保存文書のうち移管を受けたもの	約62,000冊
行政資料	県・国・市町村が刊行する各種行政刊行物（外郭団体や民間団体の刊行物を含む。）	約109,000冊
古文書	県の行政文書以外の文書の総称で、文書館に寄贈・寄託されたもの	約285,000点
複製資料	古文書を撮影したマイクロフィルムとそれを焼付けたもの	約236万コマ
		約40,000冊
図 書	都道府県史、市町村史、郷土に関する図書	約24,000冊

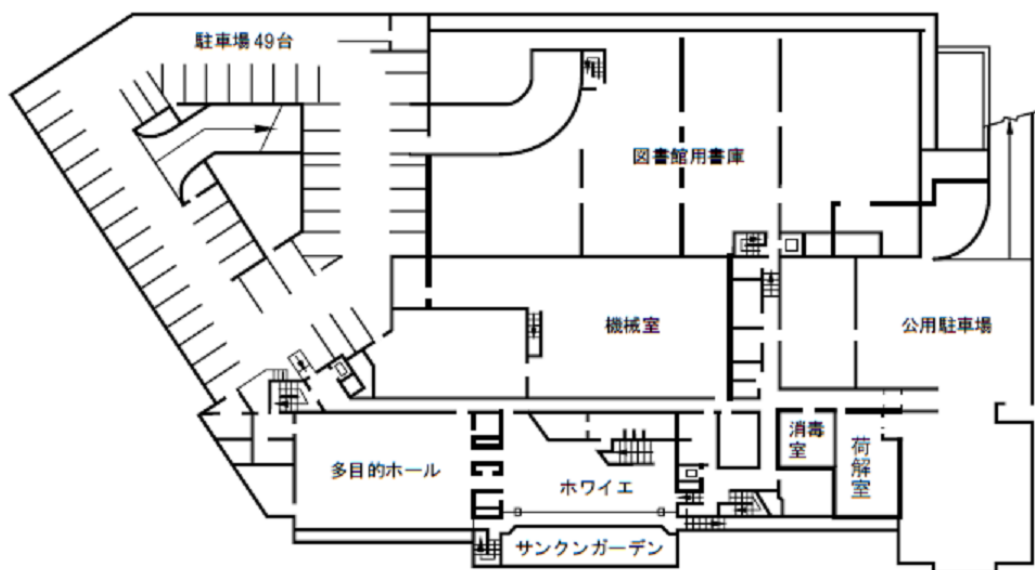
8 各階平面図



2階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図

II 事業報告

1 収 集

(1) 行政文書

平成 30 年度は、1,852 冊の行政文書（知事部局本庁機関 1,134 冊，同地方機関 278 冊，企業局 3 冊，病院事業局 2 冊，教育委員会事務局・教育機関 65 冊，監査委員事務局 370 冊）を選別収集した。その結果，収蔵行政文書は 53,810 冊となった（電子文書を除く）。

ア 行政文書課別冊数

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
内務部第一課	6	広報広聴課	62	政策企画室	7
県治課	3	行政情報室	71	分権改革課	9
内務部地方課	7	広報室	13	地方分権推進課	4
庶務課	35	広報課	7	地域企画室	128
広島県参事会	2	人事課	2	地域調整室	4
出納・総務室	4	財政課	1,537	地域開発課	158
出納総務室	6	財政室	512	地域振興課	743
会計総務課	3	税務課	8	地域政策室	40
会計課	35	税務室	2	中山間地域対策課	183
指導検査室	8	消防防災課	336	中山間地域振興課	38
企画指導室	2	消防室	8	中山間地域振興室	38
審査指導室	2	保安室	4	広域行政推進課	3
審査指導課	4	消防・保安室	1	地域政策課	17
用度室	2	消防保安課	1	地域力創造課	13
用度課	1	危機管理室	32	環境県民総務課	26
総務事務課	2	危機管理課	23	土地対策課	24
総務課	423	管財課	51	消費生活室	12
総務室	33	管財第一課	2	消費生活課	77
総務学事課	27	管財第二課	2	生活課	32
学事振興室	38	財産管理室	10	県民課	389
学事課	195	財産管理課	2	県民文化課	26
広島女子大学整備事務局	2	福利課	37	文化振興室	72
文書法制室	24	福利室	2	生活文化室	11
県史編さん室	8	職員健康推進室	2	県立生活センター	12
東京事務所	12	政策企画課	58	福山地方生活センター	6
文教課	93	政策企画局	176	三次地方生活センター	3
私学振興室	23	企画調整局	6	県民文化室	78
学事室	7	経営企画チーム	37	文化・県民協働室	18
大学企画管理室	4	情報政策課	76	文化芸術課	14
渉外課	1	情報政策室	41	コミュニティ振興	15
外事課	138	情報ネットワーク管理室	4	国民文化祭事務局	26
国際交流課	370	行政情報化推進室	3	交通安全対策室	66
国際企画室	25	研究開発室	8	交通対策課	124
国際交流室	66	企画広報課	43	交通対策室	42
国際室	2	企画室	136	地方課	1,216
国際課	6	企画課	440	市町村課	230
秘書課	25	企画調整課	283	市町村行政室	40
秘書広報課	101	地域振興・総務室	12	市町村税財政室	75
県民広報課	28	地域政策総務課	23	市町行財政室	30

市町行財政課	1,116	家庭支援室	17	被爆者・毒ガス障害者対策室	15
市町村合併推進室	38	こども夢プラン推進室	9	被爆者支援課	7
地域づくり推進室	40	こども家庭支援室	8	薬務課	210
地域行政室	5	こども家庭課	73	薬務室	15
地域税財政室	14	青少年対策室	39	環境総務室	1
権限移譲推進室	4	青少年婦人対策室	7	環境生活総務室	4
新過疎対策課	9	青少年婦人課	145	公害対策室	11
過疎対策課	4	青少年女性課	73	公害課	86
地域整備課	165	県民活動課	15	公害調整課	49
統計課	896	男女共同参画推進室	9	環境調整課	10
情報統計課	68	老人福祉課	81	環境管理課	170
統計管理室	10	高齢者対策課	130	環境政策室	12
生活統計室	3	高齢者福祉課	234	公害規制課	67
経済統計室	3	長寿社会室	6	大気保全課	126
情報管理課	6	高齢者福祉室	19	環境保全課	284
空港対策室	11	高齢者支援室	12	環境政策課	131
新空港建設推進事務局	10	高齢者支援課	5	環境対策室	21
空港対策局	10	地域包括ケア・高齢者支援課	14	環境調整室	45
空港交通対策課	10	介護保険準備室	3	自然環境保全室	1
援護課	293	介護保険推進事務局	17	自然環境課	21
民生課	15	介護保険指導室	53	水質保全課	116
援護恩給室	3	介護保険課	19	環境整備課	521
社会援護室	6	医療介護計画課	12	循環型社会推進室	17
社会援護課	13	医療介護人材課	47	循環型社会課	3
厚生課	116	医療介護保険課	26	環境型社会推進室	1
社会課	876	保険課	200	一般廃棄物対策室	6
福祉保健課	173	保険医療課	16	産業廃棄物対策室	1
福祉保健総務室	34	国保医療室	22	産業廃棄物対策課	5
健康福祉総務課	20	医療保険室	16	商工観光課	214
福祉・企画管理室	7	医務課	450	商工課	259
福祉指導課	137	医療対策課	147	商政課	128
社会福祉課	280	医療・歯科保健室	3	商工・総務室	20
同和対策室	601	医務看護室	4	商工労働総務室	6
同和対策課	745	健康増進・歯科保健室	3	商工労働総務課	37
人権施策室	18	医療対策室	14	観光課	92
人権・男女共同参画室	19	医療政策課	7	通商観光課	29
人権男女共同参画課	6	医療保険課	22	観光振興室	29
福祉課	32	がん対策課	11	産業技術振興室	4
地域福祉室	104	ねんりんピック推進室	3	工業技術課	102
地域福祉課	35	保健対策室	12	産業技術課	63
福祉指導室	25	環境衛生課	505	計量検定所	2
障害福祉課	225	生活衛生室	54	計量検定室	4
身体障害者福祉室	13	食品衛生室	20	新産業振興室	50
知的障害者福祉室	12	食品生活衛生課	19	新産業課	9
障害者支援室	9	予防課	96	産業政策課	1
障害者支援課	80	公衆衛生課	332	地域産業振興室	22
児童課	29	健康対策課	179	物流推進室	16
児童家庭課	202	健康増進室	15	立地・物流推進室	17
児童福祉課	247	原爆被爆者対策課	70	流通対策課	110
児童支援室	19	原爆被爆者援護室	4	ひろしまブランド推進課	7

国際ビジネス促進室	4	経営構造室	11	林産課	390
商業観光課	81	経営企画室	29	林業振興課	435
商工振興課	164	農業経済課	816	林業振興室	17
観光交流課	35	農地経済課	245	林業課	30
商工指導課	60	農業改良課	238	森林保全室	7
中小企業課	429	農業経営室	2	森林保全課	405
中小企業指導課	112	農業経営発展課	1	森林整備室	41
金融課	164	農業技術課	128	治山課	398
商工金融課	135	技術振興室	28	治山室	22
商工金融室	17	農業振興課	573	自然保護課	200
経営指導室	5	農村対策課	301	みどり景観室	61
経営支援室	106	農業振興室	1	監理課	622
経営支援課	1	園芸特産課	185	土木・総務室	22
経営革新課	22	農産園芸課	335	土木建築総務室	7
工業振興課	45	農業産地推進課	72	土木総務課	54
企業立地課	172	農産課	525	企画調査室	4
立地政策室	15	農産振興室	21	技術管理室	16
県内投資促進課	26	販売推進課	5	技術管理課	191
労政管理室	8	食糧課	2	技術企画課	1
労働福祉室	2	食品流通課	117	建設産業室	7
労政課	813	生産流通室	14	建設産業課	6
労政福祉課	97	食品流通安全室	5	技術総務室	21
労政雇用課	20	畜産課	1,135	技術指導室	2
勤労者福祉室	6	畜産振興室	53	用地課	30
労働福祉課	3	畜産環境室	38	道路維持課	141
雇用対策室	36	農地防災課	1	道路整備課	97
雇用人材確保課	19	農地課	24	道路課	175
雇用労働政策課	28	耕地課	1,437	道路建設課	254
福山商工労政事務所	11	農村整備課	197	道路総務室	16
職業安定課	426	農業活性化推進課	6	道路企画室	20
職業訓練課	80	農地保全室	7	河川課	978
職業能力開発課	44	土地改良室	12	河川管理室	3
職業能力開発室	27	開拓課	1	河川企画整備室	3
イノベーション推進チーム	9	農地開拓課	315	道路河川管理室	5
産業人材課	1	農業開拓課	7	道路河川管理課	38
農業経営課	14	農業開発課	175	河川開発室	4
経済課	5	生産基盤室	5	河川開発課	39
農政課	1,284	生活基盤室	27	ダム建設室	3
農林企画課	67	農村基盤室	8	ダム室	10
農林・総務室	1	農林整備管理課	5	港湾課	798
農林水産部企画管理室	12	農業基盤課	45	広島みなとまちづくり推進室	13
農林水産部企画室	4	水産課	1,358	港湾振興室	23
農林水産総務室	3	水産漁港課	632	港湾管理室	10
農林水産総務課	9	水産振興室	9	港湾企画整備室	8
農業活性化推進室	5	漁業調整室	25	港湾企画整備課	1
団体検査室	168	漁港漁場整備室	9	港湾振興課	28
団体検査課	218	林政課	1,004	砂防課	187
農業担い手支援課	13	林務政策課	73	新空港地域整備室	11
就農支援課	1	林務管理室	21	空港対策課	47
企画調整室	3	林業経営課	1	空港振興室	11

空港振興課	5	備北地域事務所総務局	11	動物愛護センター	12
計画課	451	西部総務事務所	1	身体障害者更生相談所	2
都市計画課	454	西部総務事務所東広島支所	1	呉高等技術専門校	20
都市総務室	21	北部総務事務所	45	尾道農林事務所	31
都市総務課	2	尾道県税事務所	2	福山農林事務所	18
都市政策課	168	三次県税事務所	1	三次農林事務所	3
都市企画室	59	広島地域事務所税務局	9	庄原農林事務所	12
都市企画課	11	呉地域事務所税務局	17	甲山地域農業改良普及センター	2
開発指導室	1	芸北地域事務所税務局	6	広島地域事務所農林局	3
学園都市建設課	1	東広島地域事務所税務局	25	呉地域事務所農林局	18
都市整備課	273	尾三地域事務所税務局	1	芸北地域事務所農林局	34
都市整備室	9	福山地域事務所税務局	2	東広島地域事務所農林局	1
下水道課	111	備北地域事務所税務局	3	尾三地域事務所農林局	80
下水道室	21	西部県税事務所廿日市分室	5	福山地域事務所農林局	38
公園下水道課	106	北部県税事務所	3	備北地域事務所農林局	51
建築課	257	自治総合研修センター	1	備北地域事務所農林局庄原支局	46
建築指導室	3	東部工業技術センター	1	西部農林水産事務所呉農林事業所	7
住宅課	551	林業技術センター	6	西部農林水産事務所東広島農林事業所	22
住宅室	1	呉保健所竹原支所	1	東部農林水産事務所	16
住宅企画室	15	廿日市保健所	4	東部農林水産事務所尾道農林事業所	26
住宅管理室	1	府中保健所	1	北部農林水産事務所	108
営繕課	44	大柿地域福祉保健センター・呉保健所大柿支所	2	北部農業技術指導所	1
広島港建設課	2	廿日市福祉保健センター・廿日市保健所	2	東部農業技術指導所	9
土地開発課	1	三原福祉保健センター・三原保健所	2	西部畜産事務所	1
開発課	166	広島地域事務所厚生環境局・広島地域保健所	36	県立農業技術大学校	5
開発第一課	58	広島地域事務所厚生環境局・広島地域保健所海田分室	11	広島土木出張所	9
開発第二課	30	呉地域事務所厚生環境局・呉地域保健所	62	広島土木建築事務所	152
開発用地課	26	芸北地域事務所厚生環境局・芸北地域保健所	93	広島都市計画事務所	2
開発総務課	57	東広島地域事務所厚生環境局・東広島地域保健所	3	西条土木出張所	1
総務課（企）	109	尾三地域事務所厚生環境局・尾三地域保健所	58	西条土木事務所	1
企業・総務室	9	福山地域事務所厚生環境局・福山地域保健所	9	廿日市土木建築事務所	1
企業総務課	9	備北地域事務所厚生環境局・備北地域保健所	72	東広島土木建築事務所	1
経理課	43	西部厚生環境事務所	48	芸北地域事務所建設局	1
開発分譲課	8	西部厚生環境事務所広島支所	37	尾三地域事務所建設局	2
水道課	78	西部厚生環境事務所呉支所	15	福山地域事務所建設局	1
水道管理室	3	北部厚生環境事務所	1	備北地域事務所建設局庄原支局	2
水道整備室	1	福山児童相談所	10	備北地域事務所建設局上下支局	3
県立病院課	24	福山こども家庭センター	7	北部建設事務所庄原支所	4
県立病院管理室	13	県立総合精神保健福祉センター	13	北部建設事務所安芸太田支所	17
県立病院室	6	食肉衛生検査所	5	広島港事務所	5
広島復興事務所	1,058			広島港湾事務所	1
安芸地方事務所	22			広島港湾振興事務所	109
佐伯地方事務所	22			監査室	27
呉渉外労務管理事務所	177			審査室	27
江田島渉外労務管理事務所	8			監査委員事務局	887
広島県引揚同胞更生会	237			人事委員会総務審査室	2
呉地域事務所総務局	11			人事委員会総務審査課	3
芸北地域事務所総務局	64			地方労働委員会	89
東広島地域事務所総務局	13				
福山地域事務所総務局	8				

労働委員会事務局	2	教委指導第二課	17	県立図書館	3
広島海区漁業調整委員会事務局	20	教委指導第三課	14	県立歴史博物館	2
内水面漁場管理委員会事務局	1	教委義務教育指導課	31	広島観音高等学校	20
教育委員会	104	教委豊かな心育成課	5	大和高等学校	1
教委総務課	216	教委社会教育課	145	広島工業高等学校	138
教委総務調査課	124	教委生涯学習課	7	神辺高等学校	361
教委秘書広報室	4	教委文化課	11	可部高等学校	94
教委教職員課	23	教委文化財課	28	広大成同盟会	29
教委施設課	138	教委保健体育課	75	広大推進本部	28
教委健康福利課	5	教委スポーツ振興課	2	県立広島大学三原キャンパス 事務部	5
教委教育企画課	26	教委スポーツ健康課	2		
教委学校経営課	79	教委学事課	4	県立広島大学庄原キャンパス 事務部	5
教委学校経営支援課	16	教委特別支援教育課	9		
教委高校教育指導課	13	教委安芸出張所	1	警察本部	1
教委指導課	69	尾三教育事務所	2		
教委指導第一課	99	東部教育事務所	1	総計	53,810

イ 完結年度別行政文書冊数

完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数
明治 17 (1884)	1	昭和 6 (1931)	5	昭和 36 (1961)	909	平成 3 (1991)	716
18 (1885)	1	7 (1932)	6	37 (1962)	819	4 (1992)	672
24 (1891)	1	8 (1933)	5	38 (1963)	1,039	5 (1993)	835
26 (1893)	9	9 (1934)	8	39 (1964)	953	6 (1994)	841
27 (1894)	1	10 (1935)	8	40 (1965)	745	7 (1995)	2,159
29 (1896)	1	11 (1936)	6	41 (1966)	854	8 (1996)	787
30 (1897)	1	12 (1937)	7	42 (1967)	1,128	9 (1997)	1,216
33 (1900)	9	13 (1938)	14	43 (1968)	1,285	10 (1998)	1,307
37 (1904)	1	14 (1939)	13	44 (1969)	1,088	11 (1999)	1,023
38 (1905)	1	15 (1940)	9	45 (1970)	1,399	12 (2000)	1,619
43 (1910)	2	16 (1941)	21	46 (1971)	1,179	13 (2001)	1,096
44 (1911)	1	17 (1942)	17	47 (1972)	1,175	14 (2002)	1,116
大正元 (1912)	19	18 (1943)	16	48 (1973)	1,406	15 (2003)	731
2 (1913)	3	19 (1944)	19	49 (1974)	1,296	16 (2004)	627
3 (1914)	2	20 (1945)	24	50 (1975)	894	17 (2005)	816
4 (1915)	1	21 (1946)	61	51 (1976)	659	18 (2006)	599
6 (1917)	1	22 (1947)	48	52 (1977)	1,091	19 (2007)	471
7 (1918)	1	23 (1948)	90	53 (1978)	985	20 (2008)	499
8 (1919)	1	24 (1949)	98	54 (1979)	786	21 (2009)	401
9 (1920)	4	25 (1950)	221	55 (1980)	671	22 (2010)	639
10 (1921)	4	26 (1951)	218	56 (1981)	707	23 (2011)	820
11 (1922)	6	27 (1952)	229	57 (1982)	856	24 (2012)	370
12 (1923)	6	28 (1953)	160	58 (1983)	760	25 (2013)	61
13 (1924)	6	29 (1954)	176	59 (1984)	677	26 (2014)	28
14 (1925)	3	30 (1955)	242	60 (1985)	708	27 (2015)	1
昭和元 (1926)	8	31 (1956)	487	61 (1985)	539	年度不明	632
2 (1927)	8	32 (1957)	469	62 (1987)	644		
3 (1928)	6	33 (1958)	555	63 (1988)	693		
4 (1929)	5	34 (1959)	737	平成元 (1989)	582		
5 (1930)	7	35 (1960)	889	2 (1990)	2,223	総計	53,810

ウ 平成 30 年度収集行政文書課別冊数

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
審査指導課	1	被爆者支援課	1	建設産業課	3	東部農業技術指導所	1
総務課	3	薬務課	1	用地課	1	西部建設事務所安芸太田支所	17
学事課	1	環境保全課	1	道路河川管理課	3	広島港湾振興事務所	108
広報課	1	産業廃棄物対策課	1	港湾振興課	1	監査委員事務局	370
地域政策総務課	2	経営革新課	1	都市計画課	29	教委教職員課	3
地域力創造課	13	雇用労働政策課	3	建築課	1	教委施設課	1
市町行財政課	815	職業能力開発課	6	営繕課	1	教委学校経営支援課	12
社会援護課	2	農林水産総務課	3	企業総務課	3	教委高校教育指導課	3
健康福祉総務課	3	団体検査課	55	県立病院課	2	教委義務教育指導課	24
地域福祉課	22	農業担い手支援課	1	北部総務事務所	11	教委豊かな心育成課	4
障害者支援課	34	就農支援課	1	北部県税事務所	2	教委生涯学習課	1
こども家庭課	3	農業技術課	2	西部厚生環境事務所 広島支所	20	教委文化財課	8
県民活動課	8	農業産地推進課	44	県立総合精神保健福祉センター	1	教委特別支援教育課	7
地域包括ケア・高齢者支援課	1	畜産課	24	動物愛護センター	10	県立歴史博物館	2
医療介護保険課	3	農業基盤課	16	西部農林水産事務所 呉農林事業所	3		
がん対策課	6	農林整備管理課	1	西部農林水産事務所 東広島農林事業所	22		
食品生活衛生課	3	林業課	1	東部農林水産事務所 尾道農林事業所	6		
健康対策課	4	土木総務課	8	北部農林水産事務所	77	総計	1,852

(2) 行政文書（長期保存文書）

平成 24 年 4 月 1 日の広島県文書等管理規則改正に伴い、保存年限区分の「長期」が廃止され、最長保存期間が 30 年となった。規則改正前に保存年限を「長期」としていた文書等の管理については、なお従前の例によるとされたが、このうち完結後 30 年が経過したものについては、法令により廃棄しなければならないとされている場合等特別の理由がある場合を除き、文書館長に引き渡すよう努めるものとされた。また、平成 25 年 4 月 1 日に広島県教育委員会事務局等文書管理規程が改正され、保存年限が「長期」である文書に関して、知事部局と同様の規定が設けられた。

平成 30 年度は、長期保存文書の移管はなかった。平成 31 年 3 月 31 日現在、文書館で収蔵している長期保存文書は合計 8,313 冊で、その内訳は次のとおりである。

ア 移管長期保存文書課別冊数

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
県治課	4	文教課	15	秘書課	62
庶務課	12	渉外課	8	人事課	1
総務課	193	外事課	8	財政課	309
消防防災課	100	商工指導課	23	砂防課	58

管財課	232	中小企業課	17	計画課	18
管財第一課	7	金融課	35	都市計画課	28
管財第二課	1	労政課	57	都市総務課	6
福利課	78	職業訓練課	77	下水道課	2
企画広報課	2	職業能力開発課	1	建築課	75
企画課	70	農業経営課	83	住宅課	377
土地対策課	6	農政課	244	営繕課	12
交通対策課	23	農業経済課	77	広島港建設課	2
地方課	351	農地経済課	17	開発課	32
市町村課	13	農業改良課	35	開発第一課	12
統計課	36	農業技術課	16	開発用地課	28
民生課	2	農業振興課	5	開発総務課	9
厚生課	23	農村対策課	1	経理課	25
社会課	62	園芸特産課	4	水道課	31
福祉課	2	農産園芸課	2	県立病院課	9
障害福祉課	21	農産課	1	佐伯地方事務所	2
児童課	50	食品流通課	9	江田島渉外労務管理事務所	1
児童家庭課	93	畜産課	39	教委総務課	338
児童福祉課	45	農地課	2	教委総務調査課	5
青少年対策室	2	耕地課	398	教委教職員課	42
保険課	13	農地開拓課	5	教委学校管理課	3
医務課	180	農業開発課	19	教委義務教育課	4
環境衛生課	35	水産課	146	教委高校教育課	2
予防課	47	水産漁港課	1	教委指導課	200
公衆衛生課	138	林政課	184	教委指導第一課	2
原爆被爆者対策課	2	林産課	12	教委指導第二課	9
薬務課	58	治山課	227	教委義務教育指導課	3
公害課	16	自然保護課	2	教委社会教育課	17
公害調整課	4	監理課	228	教委生涯学習課	28
環境調整課	1	用地課	182	教委文化課	111
公害規制課	6	道路維持課	470	教委学事課	8
商工観光課	46	道路課	13	教委障害児教育室	3
商工課	62	道路建設課	10		
商政課	3	河川課	359		
観光課	1	河川開発課	12		
工業技術課	186	港湾課	1,169	総計	8,313

イ 完結年度別移管長期保存文書冊数

完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数
明治 41（1908）	1	大正 14（1925）	1	昭和 11（1936）	2	昭和 17（1942）	4
42（1909）	1	昭和 2（1927）	2	12（1937）	4	18（1943）	4
43（1910）	1	4（1929）	2	13（1938）	1	19（1944）	1
大正 10（1921）	2	7（1932）	1	14（1939）	3	20（1945）	6
11（1922）	1	9（1934）	2	15（1940）	3	21（1946）	19
12（1923）	6	10（1935）	1	16（1941）	2	22（1947）	11
昭和 23（1948）	38	昭和 35（1960）	192	昭和 47（1972）	406	昭和 59（1984）	26
24（1949）	71	36（1961）	206	48（1973）	430	60（1985）	15

25 (1950)	89	37 (1962)	243	49 (1974)	383	61 (1985)	2
26 (1951)	125	38 (1963)	277	50 (1975)	349	62 (1987)	1
27 (1952)	114	39 (1964)	260	51 (1976)	342	63 (1988)	1
28 (1953)	98	40 (1965)	332	52 (1977)	346	平成元 (1989)	1
29 (1954)	114	41 (1966)	322	53 (1978)	426	3 (1991)	1
30 (1955)	145	42 (1967)	324	54 (1979)	74	4 (1992)	1
31 (1956)	206	43 (1968)	418	55 (1980)	43	10 (1998)	1
32 (1957)	189	44 (1969)	343	56 (1981)	42	年度不明	140
33 (1958)	178	45 (1970)	307	57 (1982)	68		
34 (1959)	200	46 (1971)	311	58 (1983)	32	総計	8,313

(3) 行政資料

平成 30 年度は 1,264 冊を収集し、累計は 108,665 冊となった。

年度	広島県	市町村	国	その他	計	累計
平成 21 年度まで	34,382	6,791	12,415	30,680	84,268	84,268
22 年度	1,700	436	855	3,506	6,497	90,765
23 年度	1,365	201	495	2,570	4,631	95,394
〃 (廃棄等)	0	0	0	-2	-2	
24 年度	1,000	215	197	619	2,031	97,425
25 年度	1,155	211	323	1,322	3,011	100,436
26 年度	1,331	79	91	337	1,838	102,005
〃 (廃棄等)	-168	-9	0	-92	-269	
27 年度	1,064	314	58	1,005	2,441	104,446
28 年度	1,216	191	47	458	1,912	106,342
〃 (廃棄等)	-10	0	0	-6	-16	
29 年度	849	83	22	106	1,060	107,401
〃 (廃棄等)	-1	0	0	0	-1	
30 年度	1,014	68	65	117	1,264	108,665
計	44,897	8,580	14,568	40,620	108,665	108,665

(4) 古文書

ア 原文書の収集

平成 30 年度は、25,505 点の寄贈・寄託を受けたが、「安芸国広島浅野家家中 箕浦家文書」（寄贈，201503）51 点と「広島県山県郡加計村（遅越）井上家文書」（寄託，200709）のうち 55 点、計 106 点を返却した。この結果、収集総数は 285,486 点となった。

年度	文書名等	点数 (推定)	寄贈・ 寄託等	内容
平成 20 年度まで	竹内家文書，橋本家文書，八田家文書，県議会文書，山野村役場文書，広島銀行『創業百年史』編纂資料，広島築港百年史編纂委員会資料，長船友則氏収集資料，波多野家文書ほか	212,946	移管 寄贈 寄託	割庄屋文書，商家文書，国会・銀行・地主文書，県議会議事録，明治～昭和役場文書，銀行史文書，港湾史編纂資料，中国地方鉄道・全国時刻表ほか

21年度	後藤陽一資料，三浦家文書，得能家文書，小田家文書，田辺家文書，河野家文書ほか	2,113	寄贈 寄託	広大名譽教授収集資料，「御当国絵図面」，奴可郡「郡務拾聚録」，同郡「国郡志御用下調書上帳」，俳句資料，賀茂郡川尻村庄屋・村長文書など
22年度	石津他人氏収集資料，堀江家文書，兒玉家文書，藏田家文書，植田家文書，長船友則氏収集資料，井上家文書ほか	2,485	寄贈 寄託	小学校の教師指導書や教科書，刊本・雑誌，辞令類，安芸郡坂村組頭・庄屋・割庄屋，坂村長文書，賀茂郡寺家庄屋文書（免状），世羅銀行，貴族院議員関係文書，中国地方鉄道関係資料，大田扱苧の売仕切状・書状など
23年度	臼井家文書，塙水尾家文書，檜崎修策氏収集資料，林義孝氏所蔵資料，横路家文書，溝下家文書ほか	3,606	寄贈 寄託	安芸郡本庄村の農業日誌など，安芸郡吉浦村の真宗經典類など，明治20年代『中国新聞』・『安芸津新報』など，1960～70年代の縮景園内建造物復旧図面など，奴可郡田殿村鉄穴資料，明治の牧場資料など，佐伯郡上平良村溝下家の証文，地券，証書など
24年度	兒玉家文書，寺岡家文書，堀江家文書，林家文書，兼田文隆氏所蔵資料，薦田允彦氏収集文書ほか	6,675	寄贈 寄託	医師収集の和書，福山藩の村役人文書，恵蘇郡南村大宮八幡宮関係文書，陸軍大佐収集の和漢書，観光映画フィルム原版等，尾道町の文書など
25年度	小都勇二資料，佐々木要氏収集資料，高橋家文書，岡本克子氏収集資料，広島県傷痍軍人会資料ほか	12,322	寄贈 寄託	吉田町郷土史家収集資料，満州分村常金丸開拓団の文書，松永町製塩関係や上下田辺家分家の文書，高屋東村庄屋文書，解散団体資料など
26年度	藤原浩修氏所蔵文書，平野家文書，広島県信用組合六十年史編纂資料，森家文書，広島労音機関紙ほか	5,825	寄贈 寄託	社会運動家資料・文化運動刊行物等，世羅郡津口村の庄屋文書，銀行資料，高田郡秋山村の庄屋文書，戦後の音楽鑑賞団体機関誌など
27年度	高路家文書，栗栖家文書，清水高雄文書，谷口博資料，埤坂道子氏所蔵文書，松崎家文書ほか	3,111	寄贈 寄託	土地書類等，広島藩士知行目録等，日中戦争の「従軍手帳」，文書関係研究著作，病院職員の被爆関係資料，村会議員文書など
28年度	片山家文書，小砂家文書，玉谷家文書，吉川村役場文書，栗根家文書，町野家文書，高野虎市資料ほか	3,364	寄贈 寄託	和書・郷土図書・軸物，深津郡野上村・高宮郡下中野村・沼田郡久地村の庄屋文書，村役場の明治～昭和行政文書，広島藩士，チャップリンの秘書資料など
29年度	大藤家文書，荒木家文書，兒玉家文書，高下家文書，小林家文書，福島家文書，佐々木家文書ほか	7,534	寄贈 寄託	広島藩士系図等，佐伯郡下河内村免状等，山県郡有田村医師和書，同郡下殿河内村のガラス乾板写真等，奴可郡保田村名寄帳等，沼田郡飯室村会議案等，呉市小学校教員資料など
30年度	石津家文書（201801）	238	寄贈	証文・辞令・書画など
	寺島卓一氏収集文書（201802）	332	寄贈	絵葉書・観光パンフレット
	高上龍雄氏収集文書（201803）	11	寄贈	絵葉書
	和田家文書（201804）	11,329	寄贈	佐伯郡割庄屋，大竹市重要文化財
	多田家文書（201805）	279	寄贈	広島藩剣術師範，北海道写真，辻将曹写真など
	三浦昇一資料（201806）	2,771	寄贈	部落解放・労働運動，社会問題資料など
	奥田家文書（201807）	78	寄贈	神社合併資料，俳諧短冊，証文など
	瀧口家文書（201808）	27	寄贈	吉舎町の呉服店，家相図・地図など

田原家文書 (201809)	31	寄贈	頼母子証書, 議員当選告知など
大瀬戸捷文氏所蔵文書 (201810)	1	寄贈	中国戦地での陸軍雇員らの書簡
松尾幾雄氏所蔵文書 (201811)	3	寄贈	奴可郡田黒村「反別地価帳」
村上絢一氏収集文書 (201812)	2	寄贈	大朝村「神社取調書」など
松田家文書 (201813)	35 箱	寄贈	日誌, 地券, 農業経営帳簿など
霹靂神社文書 (201814)	104	寄贈	明治教科書・和書, 書画など
友久武文資料 (201815)	312	寄贈	田植歌歌詞筆写原稿, 音声テープなど
岡村俊治資料 (201816)	3	寄託	呉海軍工廠見習工員卒業証など
長田家文書 (201817)	18	寄贈	金銭貸附帳・手紙・葉書など
井東外次郎収集文書 (201818)	6	寄贈	絵葉書
今津隆氏文書 (201819)	1	寄贈	山県広島県知事を含む大正 12 年集合写真
楨林家文書 (201820)	7,300	寄贈	醤油醸造業・酒造業・貸金業の文書
藤井家文書 (201821)	1	寄贈	県立高等女学校の女学生夏休み日記
吉村家文書 (201822)	18	寄贈	藩士奉公書, 広島市高女教諭辞令など
奥一浩氏所蔵文書 (201823)	4	寄贈	時刻表・書簡・写真
佐川延一氏収集文書 (201824)	4	寄贈	下張り文書・屏風
植田静人氏収集文書 (198910)	3	寄贈	「広島原爆の日の思い出」など
石踊一則氏収集文書 (198914)	1	寄贈	膳載録 (諸願届様式や願届の控)
長船友則氏収集資料 (200407)	2,320	寄託	鉄道図書・写真集・スクラップ・絵葉書など
井上家文書 (200709)	46	寄託	書状・電報・写真など
美濃家文書 (201613)	75	寄贈	軍事郵便・写真など
荒木家文書 (201702)	4 箱	寄贈	地券・下河内村野山絵図・表彰状・写真など
福島家文書 (201716)	148	寄贈	久地村「国郡志御用ニ附下調書出帳」など
30 年 度 計	25,505		
計	285,486		

イ マイクロフィルムによる収集

平成 30 年度は新たな収集は行わなかった。収集総数は 715,390 点である。

年 度	文 書 名	所 在	コマ数
11 年度まで	防衛庁戦史部図書館, 阿蘇家文書, 竹鶴家文書, 藤井家文書, 中垣家文書, 山野村役場文書, 多田家文書ほか	東京都, 向島町, 竹原市, 豊町, 広島市安佐北区, 県立図書館	628,677
12 年度	防衛庁戦史部図書館, 大儀正夫氏収集文書, 国会図書館史料, 能美町教育委員会文書, 山野村役場文書, 友近家文書, 竹内家文書	東京都, 広島市南区, 県立図書館, 佐伯郡能美町, 広島市安佐北区	53,053
13 年度	原田家文書, 宮沖家文書, 秋本家文書, 山野村役場文書, 細川家文書	広島市安佐北区, 佐伯郡能美町, 県立図書館	9,352
14 年度	防衛庁防衛研究所図書館史料, 米田家文書, 原田家文書, 「明治の令達」, 大崎町教育委員会所蔵文書	東京都, 双三郡吉舎町, 広島市安 佐北区, 三原市, 豊田郡大崎町	5,233
15 年度	国立公文書館史料, 「明治の令達」	東京都, 三原市	6,156

16 年度	福原家文書, 天野家文書, 三上家文書, 近藤家文書, 鶴羽根神社文書	東広島市, 安芸高田市, 広島市東 区	623
17 年度	西養寺文書, 市立竹原書院図書館 (複製)	竹原市	4,057
24 年度	榎崎修策氏収集資料 (安芸津新報・芸備日日 新聞・中国新聞), 広島県行政文書 (特別調 査一件など)	県立文書館	8,239
計			715,390

ウ デジタル化による収集

平成 30 年度は、利用者が業者委託で撮影した行政文書 10,076 コマのデジタル画像を収集した。収集総数は 101,950 画像である。

年 度	文 書 群 名	内 容	コマ数
21 年度	長船友則氏収集資料 (200407)	広島市・三原市・福山市・呉市等地図 絵葉書	1,273 1,233
22 年度	木村恒氏旧蔵文書 (200602)	幕末広島藩海防絵図	25
	三吉鼓家文書 (199708)	はね踊りの図 (山口素絢画)	5
	竹内家文書 (198801)	四日市町並絵図	14
	竹内家文書 (198801)	賀茂郡往還筋景色絵図	12
	山田家文書 (198810)	広島城下絵図 (享和元年)	11
	保田家文書 (199603)	広島城下絵図 (寛永年間)	61
	広島県広報写真	広報用各種写真	74,580
23 年度	広島県移住史関係写真	広島県知事歓迎会写真	9
24 年度	行政文書中の写真	被爆直後と復興の様子, ほか	1,102
	厳島神社文書・野坂文書 (県史複製資料)		7,281
	榎崎修策氏収集資料 (201104)	安芸津新報・芸備日日新聞・中国新聞	3,338
28 年度	小野家文書	日記など	2,930
30 年度	行政文書	引揚者在外事実調査票	10,076
計			101,950

2 整 理

(1) 行政文書

行政文書は、完結後 30 年を目途に再選別を行い、保存することになった文書について、件名目録 (文書一件ごと, すなわち各起案文書, 收受文書ごとの目録) を作成し、簿冊ごとに概要を記述する。平成 30 年度は、再選別・整理を実施しなかった。

(2) 行政資料

行政資料については、各課の資料について行政情報コーナーを通じて収集したもの、廃棄予定文書の中から収集したもの、当館に送付されてきたものを中心に発行主体別に整理を行った。

区 分	整理点数
広島県発行	1,014
市町村発行	68
国発行	65
その他発行	117
計	1,264

(3) 古文書

古文書（寄贈寄託文書）の整理については、仮整理（第一次整理）を優先しており、平成30年度は、次の文書群について整理とデータベースへの入力を行った。

群番号	文書群名	整理点数	データ入力件数
198803	安芸国賀茂郡上保田村 平賀家文書	8	19
198810	安芸国広島浅野家家中 山田家文書	3	3
198822	広島県御調郡尾道町 松本家文書	2	3
198910	広島市 植田静人氏収集文書	3	3
198914	広島市 石踊一則氏収集文書	1	1
199111	備後国三谿郡清綱村 常和寺文書	1	1
199401	広島市 永井彌六氏収集文書	654	678
199505	広島市 天野卓郎文書	4	4
199509	安芸国賀茂郡国近森近村 木原家文書	79	149
199710	安芸国広島浅野家家中 原家文書	104	138
199903	奈良県 白石健二文書	91	91
200014	広島県福山市 岡田家文書	12	12
200105	広島市 坊敏之資料	0	2
200612	安芸国賀茂郡竹原町 吉井家文書	1,491	1,494
201110	広島県佐伯郡上平良村 溝下家文書	6	6
201301	広島県高田郡吉田町 小都勇二資料	4,928	2,945
201609	備後国深津郡野上村 小砂家文書	1	1
201612	広島県賀茂郡 吉川村役場文書	819	941
201704	広島市 川口孝太郎氏収集文書	1	1
201709	安芸国沼田郡久地村 光岡徹氏旧蔵文書	21	1,910
201710	広島県比婆郡東城町 和田高男旧蔵文書	17	17
201712	備後国奴可郡保田村 小林家文書	1	1
201720	広島市 下向井龍彦氏所蔵文書	1	1
201802	広島市 寺島卓一氏収集文書	332	491
201803	広島市 高上龍雄氏収集文書	11	51
201805	安芸国広島城下浅野家家中 多田家文書	54	62
201810	広島市 大瀬戸捷文氏所蔵文書	1	1
201811	広島県庄原市 松尾幾雄氏所蔵文書	3	3
201812	広島市 村上絢一氏収集文書	2	2
201816	山口県 岡村俊治資料	3	3

201817	広島県豊田郡東生口村 長田家文書	18	26
201818	広島県賀茂郡寺西村 井東外次郎氏収集文書	2	125
201819	広島市 今津隆氏所蔵文書	1	1
201821	広島県双三郡三次町 藤井家文書	1	1
201822	安芸国広島城下浅野家家中 吉村家文書	18	21
	計	8,694	9,208

※ 整理点数とデータ入力件数が一致しないのは、集合資料1点の内訳を入力する場合があったり、逆に複数の資料を1つのレコードでまとめて入力したりすることによる。

なお、30年度はホームページに古文書の仮目録を掲載しなかった。

(4) 複製資料

開館後にマイクロフィルム等により撮影した複製資料について、平成30年度は、次の文書群について整理とデータベースへの入力を行った。

群番号	文書群名	ファイル数	データ件数
P199006	広島県御調郡尾道町 橋本家文書	18	36
P199007	広島県尾道市 尾道商工会議所所蔵文書	6	5
P199501	安芸国安芸郡新山村 不動院文書	79	2,671
	計	103	2,712

3 保 存

(1) 燻蒸

5月3日(木)から6日(日)まで、文書館荷解整理室において、次の文書についてエキヒュームSによる燻蒸を実施した。

文書群名など(登録番号)	箱数
行政文書	66箱
小砂家文書(201609)	8箱
児玉家文書(201713)	2箱
福島家文書(201716)	13箱
佐々木家文書(201717)	1箱
福島(京)家文書(201718)	2箱
佐々木家文書(201719)	3箱
和田家文書(201804)	57箱
計	152箱

(2) 平成30年7月豪雨災害の被災資料保全活動

平成30年7月6日夜から7日にかけて発生した「平成30年7月豪雨」災害により、県内11か所から段ボール箱にして推計約180箱分(約10,000点以上相当)の被災文書をレスキューし、館内にて乾燥・ドライクリーニングなどの保全活動を行った。

初期対応として、7月9日に当館が委嘱する文書調査員に調査依頼をするとともに、当館と広島大学文書館との間で締結した「災害等の発生に伴う史・資料保護に関する相互協力協定書」に基づく連携確認を行った。10日には、当館が事務局を務める広島県市町公文書等保存活用連絡協議会(広文協)

会員市町宛てに依頼文書「平成30年7月豪雨による被災文書・記録等に関する情報提供について」を發出し、情報提供を求めた。また、17日には、学校で被災した行政文書に係る処理について、県教育委員会文化財課から所管課を通じて各学校へ通知を行うこととした。

以上の働きかけにより、各方面からの連絡・情報提供を受け、次の文書群についてレスキューを行い、館内での保全活動を行った。

- 7月12日 安芸郡海田町 神社文書（祝詞ほか宮司家・神社関係文書、旧役場文書）コンテナ9箱 8月31日返却
- 7月13日 広島市安佐北区 広島市立深川小学校文書（小学校の公文書）フラットファイル1,214点 8月30日返却 ※広島大学文書館との協定によるレスキュー
- 7月19日 呉市（広多賀谷） クリーンセンターくれ受入文書（屏風下張り文書）4隻
- 7月23日 福山市（草戸町） 神社文書（神社の現用文書）コンテナ22箱 1月24日返却
- 7月26日 広島市安芸区 家文書（家業関係文書、その他家文書）コンテナ31箱、木箱・抽斗5個、段ボール箱8箱 ※広島大学文書館との協定によるレスキュー
- 7月27日 呉市（音戸町） 呉市立音戸小学校文書（卒業証書台帳）14冊 10月20日返却
- 7月31日 呉市（安浦町） 呉市立安浦小学校文書（卒業証書台帳、沿革誌）10冊 10月10日返却
- 8月17日 三原市（本郷町） 三原市本郷公民館所蔵文書（和書） 50冊 12月19日返却
- 8月17日 三原市（本郷町） 神社文書（小学校教科書、書画類） 104点
- 8月21日 三原市（大和町） 大草公民館所蔵文書（大草村役場文書） コンテナ9箱（約300冊） 12月19日返却
- 2月25日 呉市（安浦町） 家文書（家業関係文書、その他家文書） 段ボール箱・木箱など42箱

また、各地から物資・資材の支援が寄せられるとともに、各地の史料ネット等からボランティアによる支援を得た。

物資・資材の支援としては、鳥取県立公文書館からプラスチックコンテナ100箱の貸与を受けた（10月17日返却）。また、全史料協調査・研究委員会（事務局・茨城県立歴史館）からは、段ボール箱1,500箱の提供を受けた。このほか、福井県文書館、新潟市歴史文化課、国文学研究資料館からもキッチンペーパー・エタノール・手袋・段ボール板等の資材提供を受けた。また、歴史資料ネットワーク（事務局・神戸大学）からは、カンパ等を基にキッチンペーパー・キムワイプ・キムタオル・アイソレーションガウン・エタノール等、大量の資材提供を受けた。また、株式会社資料保存器材からは、無酸素パック「モルデナイベ」300枚分（脱酸素剤共）の無償提供を受けた。

ボランティア活動については、国立歴史民俗博物館天野真志氏、宮城資料ネット安田容子氏をはじめ、歴史資料ネットワーク（吉川圭太氏・吉原大志氏・加藤明恵氏ほか）、山陰史料ネット（板垣貴志氏ほか）から数度にわたる支援活動及び指導を受けた。特に、7月26日に受入れた大量の家文書の保全活動に際して、7月30・31日に文書の冷凍準備作業と乾燥作業を行っていただいたほか、9月10・11日にも支援活動のため来館していただいた。また、12月10～13日に実施した冷凍文書の解凍・乾燥作業に際しても来館され、連日にわたり支援活動をいただいた。更に、2月26・27日にも、新たに受け入れた被災文書の対処について支援を受けた。

国文学研究資料館青木睦准教授からは、被災文書のレスキュー支援について助言を受けたほか、8月8日には当館へ来館、技術指導をいただいた。また、8月16日には和歌山大学橋本唯子氏が活動支援のため来館された。

また、一部被災文書の冷凍保管については、広島市内の倉庫会社の御厚意を受けた。また、冷凍保管文書の一部については、奈良文化財研究所埋蔵文化財センターの御厚意により真空凍結乾燥処理をしていただいた。

当館におけるこれら被災文書の保全活動については、当館での取組みをまとめたポスターを作成し、11月8・9日に沖縄県那覇市で開催された全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（全史料協）全国大会と11月17・18日に新潟大学で開催された第5回全国史料ネット研究交流集会において、当館職員がポスターセッションを行った。第5回全国史料ネット研究交流集会では報告も行った。

また、全史料協会誌『記録と史料』第29号（平成31年3月刊）に、当館での被災文書保全活動の内容をまとめた西向宏介・下向井祐子「広島県における『平成30年7月豪雨』被災文書の保全活動」を掲載した。

(3) 書庫の保存環境改善

平成 28 年 12 月に発生した第 5 書庫でのカビ被害への対応策として、平成 30 年度も引き続き次のような処置や作業を行うとともに、各書庫の書庫環境の改善に努めた。

ア 温湿度のモニタリングと管理

平成 30 年度は、カビ被害が発生した第 5 書庫の集密書架内部の下段にデータロガーを 2 台、第 4 書庫吹出口側、第 2 書庫奥側にも各 1 台を増設した。6 月 4 日には、白木書庫（1 階）にもデータロガーを設置した。館内各書庫・マイクロ保管庫・展示室・荷解室及び観音書庫・白木書庫に設置した計 26 台のデータロガーで温湿度を計測し、定期的にデータを吸い上げて、温湿度の変化を記録管理した。

館内各書庫の空調管理を担当する広島県情報プラザの中央監視室とは、データロガーで計測した温湿度の情報を共有し、各書庫の温湿度の数値に急激な変化がある場合は、双方で協議して空調の冷気の調節を行い、適切な温湿度の維持に努めた。5 月 2 日、データロガーの温湿度に急な変動があったため、中央監視室に連絡して確認したところ、書庫内の空調センサーに不具合があることが判明し、中央監視室でセンサーを調整した。

平成 30 年度の館内各書庫の相対湿度は 60%以下に保たれ、新たなカビの発生は見られなかった。

イ 館内書庫内の除湿と通風の強化

第 5 書庫内では、4 月から 11 月まで、業務用大型除湿機 2 台、大型家庭用除湿機 2 台を稼働させて、庫内の除湿に努めた。書庫内の通風対策として、大型サーキュレーター 3 台を年間 24 時間稼働させた。また、空調の冷気の流れを拡散させるために、5 月 23 日に空調吹出口 2 か所に小さいファン 4 台を設置した。第 5 書庫の集密書架のレーンは常に等間隔に開け、定期的に書架を動かして、空気が停滞せず循環するように通風に配慮した。他の書庫にも除湿機を設置し、温湿度の状況を見ながら、夏場を中心に稼働させた。

また、第 2 書庫（複製資料庫）の書庫奥側の湿度が高い傾向にあり、夜間は空調が切れるため、小さいサーキュレーターを通路に 1 台設置して書庫内の空気循環に努めた。

荷解整理室は外気の影響を受けて湿度の変動が激しいため、業務用大型除湿機 3 台を稼働させた。除湿機が 24 時間稼働できるように、7 月 26 日から除湿機にホースをつないで室外へ自動排水するようにした。また、シャッター上部の隙間からの外気の吹込みを防ぐために、シャッターの内側をカーテン状のビニールシートで区切った。

ウ 虫菌の遮断

第 5 書庫内では、空気清浄機 4 台を稼働させてカビの原因となる浮遊菌の除去に努めた。書庫内の空気の清浄度を確認するために、8 月 27 日に館内 8 か所（第 5 書庫 4 か所、第 3 書庫 2 か所、地下書庫前室 1 か所、事務室中央）の空中浮遊菌調査を業者委託で実施した。その結果、事務室と第 4 書庫・第 5 書庫の空調吹出口付近の真菌数は目標値内だったが、書庫中央通路と入口付近の真菌数が他の場所より多かったため、引き続き清掃などを徹底して、定期的に調査を継続することにした。

各書庫の入口に設置した粘着マットのシートは 1 週間に 1 度交換し、荷解整理室の入口ドアにも隙間ブラシを設置した。各書庫入口に除菌スプレーも常備している。

平成 30 年度も書庫内 35 か所に設置した虫のトラップ調査によるモニタリングを継続して実施した。新規に受け入れた古文書は荷解室に別置して、目視で状態をチェックし、カビや虫害が確認できた古文書は薬剤（エキヒューム S）による殺虫・殺菌燻蒸を業者委託で実施した。受け入れた古文書はドライクリーニングを行い、虫菌や埃塵のない清潔な状態で書庫に搬入し、文書の保存箱には防虫剤（エコミュアー F T プレート）を入れて書庫に配架した。

エ カビ発生文書への対処と書庫の清掃

カビが発生し、昨年度燻蒸処理が済んだ行政文書（長期保存文書）については、文書整理ケースの表面にカビの残滓が付着しており、放置しておくことが栄養源となって新たなカビが発生する恐れがあるため、昨年度から文書整理ケースの入れ替えと書架の清掃を行ってきたが、今年度も、5月から7月まで文書整理ケースの入れ替え作業を継続した（5月23日～7月18日、毎週水曜日の午前中2時間、6回、のべ47人）。燻蒸を終えた文書に新たなカビの発生がないか確認するため、文書整理ケースのカビ残滓の状態の経過観察も行っている。

昨年度から、毎週水曜日の午前中2時間を書庫環境整備の作業にあてており、書庫清掃も行った。9月29日に書庫見学で第4書庫と第5書庫に多人数の入庫があったため、10月10日に書庫内の床清掃を行った。12月26日には各書庫の大清掃を実施した。書庫入口には棚と床の清掃用のモップを常備している。

オ 観音書庫と白木書庫の環境管理

保存環境を把握するため、6月4日に白木書庫にもデータロガー1台を設置して、観音書庫の2台とともに温湿度の計測を開始した。観音書庫の窓には順次遮光カーテンを取り付けて、紫外線の影響と夏季の温度上昇を抑制した。6月4日と10月19日に、観音書庫の掃除を実施し、書庫内の窓を開けて通風を行うとともに、書庫内の床や棚の掃除などを行った。

カ マイクロフィルム保管庫の環境管理

除湿機と空気清浄機の稼働を継続した。夏季に除湿機を稼働させると室内の温度が上昇するため、湿度をモニタリングしながら除湿機の台数を調節した。

保管庫内では、保存フィルムの劣化による酢酸臭対策として、吸湿材（シリカゲル）、酢酸吸着シート、フィルム保存剤（モレキュラーシーブ）をキャビネットに入れている。

また、5月14日に映画フィルム（2012年に受入）の一部に白カビが発生していることが判明したため、5月17日に映画フィルムの点検と容器の清拭作業を行い、フィルム保存剤（モレキュラーシーブ）を入れて密封して保管した。

(4) 湿式コピー

当館が収蔵する、広島県史編さん室が湿式複写機を使用して収集した複製資料には、銀鏡化によって判読できなくなっているものが少なくないため、平成28年度から乾式コピーまたはデジタル化による複製作成を開始した。平成30年度は次の複製資料について実施した。

群番号	文書群名	冊数
P92-31	日本銀行金融研究所所蔵文書	1
	計	1

(5) フィルム

当館が収蔵する、広島県史編さん室が撮影した写真フィルム、又は当館が開館後に撮影したマイクロフィルムなどのうち、PETベースフィルムはビネガーシンドロームにより劣化が進んでいるものが少なくない。中には、現在では再撮影などが困難なものも含まれるため、平成29年度にフィルムスキャナーを購入し、デジタル化による複製作成を開始した。平成30年度は次のマイクロフィルムについて実施した。

市町村名（撮影当時）	文書群数	フィルム本数
因島市	1	5 (1,976 コマ)
御調郡御調町	1	25 (22,291 コマ)
広島市	1	1/5 (93 コマ)
豊田郡豊浜村	1	1/8 (45 コマ)

4 利 用

(1) 総括表

年 度	開館日数	来館者数	内 容					利用券 発行数
	(日)	(人)	閱 覧	利用相談 等	見 学	展示観覧	講座等	
平成 29 年度まで	8,611	144,922	29,940	10,418	4,848	45,777	53,939	6,455
平成 30 年 4 月	24	361	80	35	0	192	54	11
5 月	24	322	113	41	21	77	70	25
6 月	26	483	104	31	18	119	211	28
7 月	25	490	72	45	2	101	270	19
8 月	26	294	115	53	5	70	51	30
9 月	23	764	138	55	53	130	388	42
10 月	26	609	138	79	0	217	175	33
11 月	24	585	112	76	14	166	217	22
12 月	22	445	90	112	0	168	75	18
平成 31 年 1 月	22	319	95	79	4	50	91	27
2 月	23	362	85	65	0	136	76	22
3 月	25	280	109	42	0	54	75	23
平成 30 年度計	290	5,314	1,251	713	117	1,480	1,753	300
計	8,901	150,236	31,191	11,131	4,965	47,257	55,692	6,755

(2) 文書の出納・複写状況

年 度	総 数 (冊)	内 訳						複写枚数(枚)
		行政文書	行政資 料	図書等	開架図書	古 文 書	複製資料	
平成 29 年度まで	168,899	13,479(3,239)	2,932	24,873	4,313	73,187	50,115	481,865
平成 30 年 4 月	470	25(4)	9	68	22	223	123	1,805(1,210)
5 月	561	25(16)	13	63	11	280	169	803(908)
6 月	1,117	37(8)	212	53	21	643	151	475(2)
7 月	292	40(26)	0	29	2	118	103	169(19)
8 月	692	43(22)	0	166	13	397	73	598(30)
9 月	628	30(10)	7	84	28	333	146	862(197)
10 月	645	83(66)	24	97	33	269	139	1,115(0)
11 月	661	67(56)	19	86	34	419	36	751(30)
12 月	379	22(16)	8	33	33	248	35	1,853(28)
平成 31 年 1 月	288	62(43)	14	14	14	137	47	265(19)
2 月	1,149	536(9)	0	48	8	485	72	395(776)
3 月	759	155(3)	1	101	6	387	109	1,187(22,327)
平成 30 年度計	7,641	1,125(279)	307	842	225	3,939	1,203	10,278(25,498)
計	176,540	14,604(3,518)	3,239	25,715	4,538	77,126	51,318	492,143

(注) 行政文書欄の()は、県職員の利用を内数で示した。複写枚数欄の()は、デジタルデータの複写申請があったデータ数を外数で示した。

(3) 地域別利用券発行状況

(単位：人，%)

区 分	平成 27 年度まで	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	計	割 合	
県 内	広島市内	2,858	140	142	135	3,275	48.5
	広島市外	1,660	67	78	87	1,892	28.0
	計	4,518	207	220	222	5,167	76.5
県 外	1,327	78	85	76	1,566	23.2	
外 国	20	0	0	2	22	0.3	
計	5,865	285	305	300	6,755	100.0	

(4) 職業別利用券発行者数

(単位：人，%)

区 分	平成 27 年度まで	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	計	割 合
会社員	974	40	58	40	1,112	16.4
自営業(農業を含む)	189	15	8	9	221	3.3
公務員	749	26	34	31	840	12.4
小中高校教員	171	6	5	4	186	2.8
大学教員	760	42	31	34	867	12.8
学生	745	31	34	66	876	13.0
大学院生	400	20	24	9	453	6.7
無職(不明を含む)	1,877	105	111	107	2,200	32.6
計	5,865	285	305	300	6,755	100.0

(5) 年代別・男女別利用券発行者数

(単位：人・%)

区 分	平成 27 年度まで	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	計	割 合	
10 ～	男	58	1	0	1	130	1.9
	女	60	3	3	4		
20 ～	男	799	30	30	48	1,456	21.6
	女	463	25	29	32		
30 ～	男	786	19	27	25	1,031	15.3
	女	151	6	10	7		
40 ～	男	735	25	37	26	1,049	15.5
	女	180	15	15	16		
50 ～	男	661	30	28	26	928	13.7
	女	158	9	7	9		
60 ～	男	927	63	48	49	1,215	18.0
	女	100	10	11	7		
70 ～	男	699	44	53	46	896	13.3
	女	41	5	4	4		
不 明	男	35	0	3	0	50	0.7
	女	12	0	0	0		
計	男	4,700	212	226	222	6,755	100.0
	女	1,165	73	79	78		

(6) 文書の貸出し(展示のみ)

ア 公益財団法人広島市文化財団 広島城(浅野氏入城 400 年記念・明治 150 年記念企画展「戊辰戦争と広島」)平成 30 年 11 月 3 日(土)～12 月 16 日(日)(原田家文書 2 点, 近藤家文書 1 点)

イ 安芸高田市歴史民俗博物館（平成 30 年秋季企画展「宍戸隆家生誕 500 年記念 安芸宍戸氏」）
平成 30 年 10 月 27 日（土）～12 月 9 日（日）（細家文書 2 点）

ウ 広島市郷土資料館（明治 150 年記念 平成 30 年度特別展「明治時代の広島」）平成 30 年 12 月
7 日（金）～平成 31 年 2 月 17 日（日）（竹内家文書 1 点，藤井家文書 1 点，竹島浅吉氏収集資料
1 点，長船友則氏収集資料 2 点）

エ 広島県立歴史博物館（平成 30 年度 早春の展示「小学校の教科書のあゆみ～教科書の歴史に見る
近現代の姿～」）平成 31 年 1 月 2 日（水）～3 月 31 日（日）（平賀家文書 17 点，植田静人氏収
集文書 1 点，奥田隆太郎氏収集文書 2 点，村上弑資料 1 点，金岡照文書 1 点，高橋家文書 1 点，行
政文書 1 点）

(7) 出版物等への掲載許可

当館収蔵資料 29 件（77 点）について出版物等への掲載を許可した。内訳は次のとおりである。

申請者分類	件数	点数
マスコミ（新聞・テレビ等）	7	15
行政機関（公立博物館・自治体史等）	12	34
個人	6	9
出版社	0	0
その他（企業・寺社・団体等）	4	19
計	29	77

(8) レファレンスサービス

当館の受付カウンターで直接質問を受けるほか，手紙・電話・ファクス・電子メールなどの依頼を
受けて，必要な情報や文書資料・文献の提供を行っている。

(1)の受付カウンターでの「利用相談」以外に，手紙・電話・ファクス・電子メールなどによる平成
30 年度のレファレンスサービスの総数は 485 件であった。

(9) ホームページのアクセス数

平成 30 年度のホームページの延べアクセス件数は，82,886 件であった。内訳は次のとおりである。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
アクセ ス件数	7,028	7,836	8,100	7,000	7,481	7,555	8,561	6,584	5,084	5,103	5,214	7,340	82,886

5 展示・普及啓発

郷土広島県の歴史に関する学習の機会と場所を提供するとともに，文書等資料の歴史的価値について
の認識を深めるため，次の事業を実施した。

(1) 展 示

ア 収蔵文書展

テ ー マ	担 当	期 間	日 数	点 数	観覧者数
遺された日記たちが語ること	西 村	平成 30 年 3 月 27 日(火) ～6 月 9 日(土)	61 日間	219 点	357 人
古文書にみる広島藩士の肖像	西 村	平成 31 年 3 月 29 日(金) ～6 月 8 日(土)	55 日間	62 点	729 人

イ 常設展（収蔵文書の紹介）

常設展では、次のテーマで収蔵文書の紹介を行った。

テ ー マ	担 当	期 間	日 数	点 数	観覧者数
写真展 三江線の軌跡	西向	平成30年6月18日(月) ～9月22日(土)	81日間	170点	308人
激動の時代 幕末維新の広島と古文書	西村	平成30年9月29日(土) ～12月27日(木)	47日間	91点	435人
戦後広島県教育の足跡	三浦	平成31年1月19日(土) ～3月16日(土)	48日間	51点	211人

※ 展示点数はパネル写真なども含む。展示観覧者数は展示図録の減少数をもとに数えている。「激動の時代 幕末維新の広島」は、広島県立文書館開館30周年・明治150年記念行事として、平成22年度に開催した収蔵文書展のリバイバル展示である。

ウ 常設展

常設展では、収蔵文書の紹介展示とは別に、説明パネルと原本を展示した。

期 間	日数	テ ー マ	点 数	観覧者数
平成31年1月19日(土)～3月16日(土)	48日間	文書館が所蔵する中世文書 江戸時代の村方文書 江戸・明治期の商家文書	2点 7点 3点	360人

※ 期間・日数・観覧者数はイの常設展（収蔵文書の紹介）と重複する。

エ らせん階段展示

当館の1階入口から2階入口までのらせん階段に写真パネルを展示した。

テ ー マ	担 当	期 間	展示点数
写真パネルギャラリー 川や山を越えて走る —中国地方の鉄橋とトンネル—	西向・ 下向井	平成29年9月5日(土)～ 平成30年8月31日(金)	20枚

(2) 広島県立文書館開館30周年記念講演会

平成30年10月1日が開館30周年の記念日に当たるため、移転開館して30周年になる広島県立図書館と共催し、広島県立文書館開館30周年記念・広島県立図書館新館開館30周年事業及び明治150年事業として、次のとおり講演会を実施した。

講演会終了後、当館と県立図書館で開催中の「明治150年事業」展示と書庫の見学会を実施した。

開催日	平成30年9月29日(土)10時～12時
会 場	広島県情報プラザ多目的ホール
講 師	三宅紹宣（広島大学名誉教授）
テ ー マ	「明治維新と広島—幕末維新时期広島藩の政治動向—」
受講者数	215人

(3) 講演会

収蔵文書展にちなんで次のとおり講演会を実施した。講演会終了後、収蔵文書展の展示解説と書庫見学会を実施した。

開催日	平成30年6月2日(土)10時～12時
会 場	広島県情報プラザ第1研修室

講師	西村 晃（当館総括研究員）
テーマ	「遺された日記たちが語ること」
受講者数	52人

(4) 古文書解読講座の開催

ア 古文書解読入門講座

平成30年6月から10月までの第2・第4土曜日（8月は第3土曜日，9月は第1・第3・第5土曜日，午前10時から12時まで）に，58名を対象に開催した。7回以上の出席者54名に修了証書を授与した。

回	月日	担当	内容
1	6月9日	西向	ガイドンス，古文書解読の基礎知識
2	6月23日	西村	近世武家文書「武家諸法度」
3	7月14日	〃	〃 「人別送り状と往来手形」
4	7月28日	西向	古文書取扱講習，文書館業務説明，文書館見学
5	8月18日	西村	近世「広島初代藩主浅野長晟の文書」
6	9月1日	西向	近世「広島城下商家の文書」
7	9月15日	〃	近世「尾道湊の文書」
8	9月29日	〃	近世「瀬戸内廻船の文書」
9	10月13日	三浦	近世「広島の安政地震の記録」
10	10月27日	荒木	近代「廃藩置県と武一騒動」，修了式

イ 続古文書解読入門講座

平成30年9月から平成31年3月までの毎月第3土曜日（第1回は第2土曜日，午前10時から2時間）に，36名を対象に開催した。5回以上の出席者32名に修了証書を授与した。

回	月日	担当	内容
1	9月8日	西村	享保4年(1719)，安永4年(1775)，同5年の広島城下町「堀川町覚書」(堀川町年寄の御用留) ①在国中の藩主 ②因地打騒動 ③城下町の年中行事
2	10月20日	〃	
3	11月17日	〃	
4	12月15日	西向	延享2年(1745)頃成立の「広島独案内」 広島城下の名所・旧蹟を案内した最初の地誌。
5	1月19日	〃	
6	2月16日	〃	
7	3月16日	三浦	元治元年(1864)～慶応2年(1866)の長州戦争（第1・2次長州征伐）に関して，広島藩が領内に発令した触書類

(5) 行政文書・古文書保存管理講習会（広文協との共催）

歴史資料として重要な行政文書及び古文書などの散逸防止，適正な管理及びその利用に関して，市町等の職員を対象に次のとおり実施した。

なお，平成30年度は行政文書と古文書の分科会方式は採らなかった。

日時	平成30年11月29日（木）10時～15時15分
場所	情報プラザ第1研修室
参加者	54名
内容	講演会

	「市町村と連携した公文書等の適切な保存及び利活用の推進について」 鳥取県立公文書館 公文書担当 係長 島 谷 容 子 「地域資料調査の課題から「古文書の力を見直す」」 —新史料協編『古文書保存・整理の手引き【改訂版】』の紹介と解説— 新潟市文化スポーツ部歴史文化課 歴史資料整備担当 主幹 (学芸員) 長 谷 川 伸
--	---

(6) 大学等学外実習

安田女子大学「古文書学実習」の学外実習を受入れ、次のとおり実施した。

日 時	平成 30 年 6 月 22 日 (金) 9 時 45 分～16 時 30 分		
場 所	文書館研修・会議室, 閲覧準備室		
参加者	安田女子大学文学部日本文学科 引率教員 高木久史		
	安田女子大学文学部日本文学科 3 年 7 名		
内 容	講 義		
	1 ガイダンス	主任研究員	西 向 宏 介
	2 文書館学概論	主任研究員	荒 木 清 二
	3 古文書の収集・整理・保存	主任研究員	西 向 宏 介
	4 文書館保存の現状と問題点	総括研究員	西 村 晃
	5 館内見学	主任研究員	荒 木 清 二
	6 古文書の補修と保存〈実習を含む〉	主任研究員	西 向 宏 介
		嘱 託 員	下向井 祐 子
嘱 託 員		日 高 愛	
	嘱 託 員	長谷川 紫	

(7) 連携事業

ア 県立広島大学・広島県立図書館・広島県立文書館連携公開講座

平成 30 年 7 月 6 日から 20 日までの金曜日 (午後 2 時から午後 3 時 30 分まで), 「唐物をめぐる文化誌」を統一テーマとして, 当館研修会議室において, 3 回連続の公開講座を開催した。なお, 第 2 回講座開始前の 15 分間, 希望する受講者に対して利用案内・展示案内などの文書館ガイダンスを行った。

回	月 日	講 師	内 容	参加者
1	7 月 6 日	人間文化学部教授 鈴木康之	海を越えてもたらされた陶磁器への憧れ	39 名
2	7 月 13 日	人間文化学部教授 西本寮子	王朝人と唐物	52 名
3	7 月 20 日	人間文化学部講師 高松亮太	江戸文化のなかの唐物	52 名

イ 広島大学・広島県立図書館・広島県立文書館連携公開講座

平成 30 年 11 月 9 日 (金)・10 日 (土) の午前 10 時 15 分から 12 時まで, 「古典の日」関連事業として, 当館研修会議室において, 当館が窓口となり, 2 回連続の公開講座を開催した。なお, 第 2 回講座終了後, 希望する受講者に対して当館の書庫見学を行った。

回	月 日	講 師	内 容	参加者
1	11 月 9 日	大学院文学研究科歴史文化学講座 准教授 船田善之	モンゴル帝国の中国支配—王族・官僚・地域社会が構築した協力関	56 名

			係一	
2	11月10日	大学院文学研究科歴史文化学講座 教授 本多博之	戦国大名毛利氏の領国支配と東大寺	54名

(8) 「広島県立文書館だより」第43号の発行(平成31年3月8日)

内 容	
【表紙】	開館30周年を迎えた県立文書館 館長 角正明
【収蔵文書展に寄せて】	広島藩士が家宝にした文書とは 総括研究員 西村 晃
【広島県立文書館30年のあゆみ】	
【文書館の仕】	被災文書の救出と保全活動 嘱託員 下向井 祐子
【その他】	平成29年度に収集した古文書 平成29年度の主なできごと

(9) 第12回中国四国地区アーカイブズウィーク(6月1日～7日)

第13回中国四国地区アーカイブズウィークの事業として、次のとおり行事を実施した。行事の広報のためにちらしを作成した。

ア 収蔵文書展「遺された日記たちが語ること」平成30年3月27日(火)～6月9日(土)
観覧者数357人

イ 文書館講演会 西村 晃(当館総括研究員)「遺された日記たちが語ること」6月2日(土)
受講者数52人

ウ 文書館書庫見学(6月2日) 参加者35人

エ 古文書解読入門講座(6月9日～10月27日 計10回) 受講者58人

オ 平成30年度広島県市町公文書等保存活用連絡協議会(広文協)総会(5月22日)
(講演)藤田理子氏(太宰府市公文書館)「太宰府市における文書管理の取り組みと公文書館の役割」参加者数31人

(10) インフォメーションシートの配置

閲覧利用者へ収蔵資料などの情報を提供するとともに、レファレンス対応の補助とするため、平成30年度から、インフォメーションシートをロビーに配置することにした。平成30年度は次のインフォメーションシートを配置した。

番 号	内 容
No.1	『広島県史』について
No.2	広島県立文書館収蔵の新聞資料
No.3	広島県立文書館収蔵の地図・絵図資料
No.4	広島県の移住史関係資料について
No.5	町村役場文書に含まれる広島県の通達類
利用の手引き1	文書館での利用手続について
利用の手引き2	古文書を取り扱うときの注意
利用の手引き3	行政文書の閲覧について

6 研究・研修・調査

(1) 研究

ア 『広島県立文書館紀要』第14号の発行（平成30年12月28日）

研究成果を「広島県立文書館紀要」第14号としてまとめた。

内 容		
【文書館業務論】		
広島県立文書館における学校資料の収集と課題	主任研究員	三 浦 豊
広島県立文書館におけるカビ被害と保存環境改善の取り組み	主任研究員	荒 木 清 二
	嘱 託 員	下向井 祐 子
【史料紹介】		
近世の瀬戸内に生きる人々—海難救助記録から見える姿—	主任研究員	西 向 宏 介

イ 資料集第10集の刊行準備

広島県立文書館資料集第10集として、『村上家乗 安政三年・四年』（広島大学文学部日本史研究室所蔵）を刊行する準備を進めた。古文書解読同好会に所属する有志が解読を行い、総括研究員西村 晃が加わって校正を行った。

(2) 研修・会議への参加

ア 日本アーカイブズ学会（1名）

・平成30年4月21日（土）～22日（日） 東洋大学白山キャンパス

イ 記録管理学会 2018年研究大会「記録管理の研究・教育に関する現状と課題 ～大学における記録管理の動向：教育，調査研究：近畿大学を例として～」（1名）

・平成30年5月18日（金）～19日（土） 近畿大学東大阪キャンパス

ウ 全国公文書館長会議（1名）

・平成30年6月7日（木）～8日（金） 東京都 ベルサール飯田橋ファースト
話題提供：角 正明（当館館長）「アーキビストの育成と活用」

エ 平成30年度広島県歴史民俗資料館等連絡協議会 第75回研究会「町並み再生と地域活性化—エコミュージアム構想との関わりから—」（1名）

・平成30年6月28日（木）～29日（金） 尾道市市民会館

オ (公財)文化財虫菌害研究所「第40回文化財の虫菌害・保存対策研修会—予防—」（1名）

・平成30年7月5日（木）～6日（金） 東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター

カ 文化庁・岡山県教育委員会「平成30年度著作権セミナー」（3名）

・平成30年8月6日（月） ピュアリティーマきび（岡山市）

キ 国立公文書館「平成30年度アーカイブズ研修Ⅰ（初任者研修）」（1名）

・平成30年8月27日（月）～31日（金） 朝日生命大手町ビル（東京都）

ク 文化庁「平成30年度図書館等職員著作権実務講習会」（1名）

・平成30年9月27日（木）～28日（金） 京都大学吉田キャンパス

ケ 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会「平成30年度公文書館機能普及セミナー in 静岡」

- テーマ「災害と公文書管理」(1名)
- ・平成30年10月4日(木) 静岡県庁
- コ 九州国立博物館「平成30年度IPMセミナー」(2名)
- ・平成30年10月24日(水) 九州国立博物館
- サ 九州国立博物館「平成30年度IPM研修」(2名)
- ・平成30年10月25日(木)～26日 九州国立博物館
- シ 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所「平成30年度文化財防災ネットワーク研修」(1名)
- ・平成30年10月31日(水)～11月1日(木) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所
- ス 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会「第44回全国(沖縄)大会及び研修会」(1名)
- ・平成30年11月8日(木)～9日(金) 沖縄県市町村自治会館(那覇市)
ポスターセッション: 広島県立文書館「西日本豪雨災害における被災文書の保全活動」
- セ 第5回全国史料ネット研究交流集会(1名)
- ・平成30年11月17日(土)～18日(日) 新潟大学中央図書館
報告: 広島県立文書館「広島県における『平成30年7月豪雨』被災文書の保全活動」
ポスターセッション: 広島県立文書館「西日本豪雨災害における被災文書の保全活動」
- ソ 平成30年度広島県歴史民俗資料館等連絡協議会 第76回研究会「学校の博物館・資料館利用の現状と課題」(1名)
- ・平成31年2月5日(火) 東広島市役所
- タ (公財)文化財虫菌害研究所「第40回文化財虫菌害防除作業に関する講習会」(1名)
- ・平成31年2月27日(水)～28日(木) 飯田橋レインボービル(東京都)
- チ 神奈川大学日本常民文化財研究所「第22回常民文化研究講座 古文書修復実習」(1名)
- ・平成31年3月10日(日)～11日(月) 神奈川大学横浜キャンパス

(3) 調査

月 日	調査先	人数
5月16日	福山市・三浦昇一氏宅	1名
7月3日・30日, 8月28日, 10月12日	広島港湾振興事務所	2名
7月3日	広島大学文書館	2名
1月9日	奈良文化財研究所	1名
3月12日	広島市・土井作治氏宅	1名

7 その他

(1) 広島県市町公文書等保存活用連絡協議会(広文協)

ア 総会の開催

平成30年5月22日(火) 13:10～15:20 / 県立文書館研修・会議室
 講演 「太宰府市における文書管理の取り組みと公文書館の役割」
 藤田理子(太宰府市公文書館)
 参加者 31名

イ 役員会の開催

- 第1回 平成30年5月22日(火) 15:40~16:40/県立文書館研修・会議室
第2回 平成30年11月29日(火) 15:30~16:30/県立文書館研修・会議室

ウ 研修会の開催

- 第1回 平成30年10月24日(水) 13:25~16:00/三次市役所本館6階会議室・布野支所
テーマ 「三次市における文書管理の現状と課題」
講師 光森秀樹(三次市総務部総務課主任)ほか
現地見学 三次市役所布野支所
参加者 34名
- 第2回 平成31年1月31日(木) /県立文書館研修・会議室
テーマ 「公文書管理業務について一文書係の仕事」
講師 安藤福平(県立文書館)
参加者 23名

エ 会報(『広文協通信』)の発行

- 第34号 平成30年11月29日発行
藤田理子「太宰府市における文書管理の取り組みと公文書館の役割」ほか
- 第35号 平成31年3月31日発行
島谷容子「市町村と連携した公文書等の適切な保存及び利活用の推進について」ほか

オ 「古文書の保存・活用に関するアンケート調査」の実施

平成30年9月20日付けで、会員の市町に対して「古文書の保存・活用に関するアンケート調査」を実施した。その結果を『広文協通信』第35号に掲載した。

(2) 施設見学受入れ

- 5月22日(火) 広島県市町公文書等保存活用連絡協議会(広文協)総会講師と出席者 2名
6月2日(土) 文書館講演会参加者 15名
5月9日(水)~6月7日(木)
広島大学総合科学部「文書管理演習」(小池聖一教授)の受講学生 22名
7月24日(火) 中国新聞「みんなの新聞コンクール」応募のため取材する小学生と母親 2名
8月2日(木) 宮原文書調査員と熊野町郷土史研究会会員 5名
9月10日(月) 駒澤大学文学部歴史学科日本史学専攻熊本史雄教授と学生 18名
9月29日(土) 開館30周年記念講演会参加者 35名
11月10日(土) 「地域アカデミー2018」第1回参加者 6名
11月15日(木) 平成30年度中国地区県立図書館郷土資料担当者会議参加者 6名
11月28日(水) 行政文書・古文書保存管理講習会講師 2名
1月25日(金) 公益社団法人日本図書館協会職員など 4名

8 業務日誌

- 4月2日(月) 第1・第4・第5書庫で除湿機の稼働開始
石津家文書(201801)寄贈受入れ
- 4月4日(水) 監査委員事務局から移管された文書を受け入れ, 運搬(荒木・三浦)
- 4月10日(火) 文書館研修会議室を会場とする古文書勉強会が発会(8月を除く第2火曜日午後開催)
- 4月11日(水) 白木書庫で状況調査(荒木・三浦)
- 4月12日(木) 安芸高田市役所と江田島市役所で広文協の監査を実施(三浦・日高)
寺島卓一氏収集文書(201802)の寄贈受入れ
- 4月16日(月) 利用者受付の嘱託職員を2名から6名へ
- 4月18日(水) 広島テレビ, 金輪島の原爆遺骨に関する中国新聞記事を取材(4月28日深夜のローカルドキュメンタリー番組「WATCH」で放送)
- 4月21日(土) 日本アーカイブズ学会2018年度大会に参加(～22日, 東京, 荒木)
- 4月23日(月) 高上龍雄氏収集文書(201803)の寄贈, 石踊一則氏収集文書(198914)の追加寄贈受入れ受入れ
- 4月26日(木) 県庁総務課で, 30年度の文書館事業について説明(角・西村・荒木)
- 5月1日(火) 和田家文書(201804)寄贈受入れ。大竹市から文書館へ運搬(業者委託, 三浦・西向)
- 5月3日(木) 地下2階の荷解整理室で文書燻蒸(～6日)
- 5月7日(月) 「旧優生保護法に係る庁内連携会議」に出席(平成31年26日も, 県庁, 荒木)
- 5月12日(土) 多田家文書(201805)寄贈受入れ(8月10日に追加寄贈受入れ)
- 5月14日(月) マイクロフィルム保管庫で保存する8ミリフィルムから白カビが発生していることを発見
- 5月15日(火) 中央監視室と協議して, マイクロフィルム保管庫の温度を下げる
- 5月16日(水) 福山・三浦昇一資料調査のため出張(角・荒木)
マイクロフィルム保管庫で保存する8ミリ映画フィルムにカビが発見されたため, 点検作業を実施
- 5月18日(金) 記録管理学会研究大会へ参加(～19日, 東大阪市, 三浦)
- 5月22日(火) 平成30年度広文協総会と第1回役員会開催
福山市歴史資料室の職員に文書館業務を説明し, 書庫見学
- 5月23日(水) 第5書庫の空調吹出口2か所へファン4台を設置
カビ被害が生じた第5書庫行政文書文書整理ケースの交換を, 昨年度から引き続き毎週水曜日の午前中2時間実施(～7月18日)
- 5月25日(金) 県立歴史博物館から行政文書移管受入れ
大型除湿機4台を各書庫へ配置して稼働
- 5月30日(水) 三浦昇一資料(201806)の寄贈受入れ。福山市から文書館へ運搬(6月6・13日も, 荒木・三浦)
- 6月1日(金) 第13回中国四国地区アーカイブズウィークに参加(～7日)
- 6月2日(土) 文書館講演会「遺された日記たちが語ること」開催, 希望者に書庫案内
- 6月4日(月) 奥田家文書(201807)の寄贈受入れ
観音書庫を清掃(10月19日も)。白木書庫にデータロガーを設置して環境測定を開始
- 6月5日(火) (株)ミックが利用者から依頼された行政文書のデジタル撮影を開始
- 6月6日(水) 奥田家文書(201807)の寄贈受入れ
- 6月7日(木) 全国公文書館長会議に出席(～8日, 東京, 角)
- 6月9日(土) 古文書解読入門講座(第1回)開講
収蔵文書展「遺された日記たちが語ること」が終了(3月27日～)
- 6月14日(木) 全史料協総会に出席(角, 岡山市)
- 6月15日(金) 文書調査員会議を開催。松尾幾雄氏所蔵文書(201811)の寄贈受入れ
- 6月18日(月) 第1回収蔵文書の紹介展・写真展「三江線の軌跡」開始(～9月22日)
- 6月22日(金) 安田女子大学「古文書学実習」学外実習を受入れ

- 6月23日(土) 古文書解読入門講座(第2回)
- 6月28日(木) 広島県歴史民俗資料館等連絡協議会第75回研究会に出席(～29日,尾道市,西向)
- 7月3日(火) 広島大学文書館を視察(角・三浦)
広島港湾振興事務所で文書保存について協議(荒木・三浦)
- 7月4日(水) 瀧口家文書(201808)の寄贈受入れ
- 7月5日(木) (公財)文化財虫菌害研究所「文化財の虫菌害・保存対策研修会」を受講(～6日,東京,日高)
大瀬戸捷文氏所蔵文書(201810)の寄贈受入れ
- 7月6日(金) 県立広島大学・広島県立図書館・広島県立文書館連携公開講座「唐物をめぐる文化誌」を研修
会議室で開催(13・20日にも開催。13日の講座前に当館の業務について説明)
- 7月7日(土) 平成30年7月豪雨
- 7月9日(月) 県庁で行政文書選別作業(10日・25日・30日も,荒木・三浦・角)
広島大学文書館と「災害時の史資料保護の相互協力協定」の適用について協議
文書調査員へ豪雨による文書被災状況調査を依頼
- 7月10日(火) 被災文書の対応について館内運営会議で協議
広文協事務局から会員市町へ「被災文書・記録等に関する情報提供について」依頼文書を発送
福島家文書(201716)の追加寄贈受入れ
- 7月11日(水) 広島大学文書館へ「平成30年7月豪雨への支援について」協力依頼文書を発送
- 7月12日(木) 広島ホームテレビが金輪島地区について取材
被災した安芸郡海田町の神社文書を救助するため当館へ運搬(19・23日に追加分運搬,8月
31日に返却)
- 7月13日(金) 白木書庫の被災状況を点検(荒木・三浦)
被災した広島市立深川小学校の公文書を救助するため当館へ運搬(荒木・三浦,広島大学文書
館との協定による救助を実施,8月30日返却)
安芸郡海田町の神社文書の救助活動を開始
- 7月14日(土) 古文書解読入門講座(第3回)
- 7月17日(火) 救助作業のため深川小学校被災文書を広島大学エネルギーセンターへ移送(三浦・西向・下向
井)
広島県教育委員会を通じて,県立・市町立学校などへ被災文書の情報収集のため照会を依頼
村上絢一氏収集文書(201812)の寄贈受入れ
クールシェア開始(～9月17日)
- 7月18日(水) ホームページのトップページに「捨てないで!大切な地域の文書・記録」と「こんな時はどう
したらいいの?水害などで水に濡れた文書の応急処置」を掲載
- 7月19日(水) 呉市広多賀谷のクリーンセンターくれから被災した屏風下張りを文書館へ運搬(荒木・三浦)
- 7月20日(木) 広島大学エネルギーセンターで行われた深川小学校文書の救援作業に参加(三浦・西向・下向
井)
- 7月21日(金) 元福岡県立図書館職員から被災文書の乾燥作業について指導を受ける(1月16日～17日,3
月6日～7日も)
- 7月23日(月) 被災した福山市の神社文書を救助するため文書館へ運搬(荒木・三浦,1月24日返却)
- 7月24日(火) 東広島市の小学生が,中国新聞「みんなの新聞コンクール」に応募するため当館を取材
- 7月25日(水) 中国新聞報道部の記者が被災資料救済作業を取材(26日付けで「被災した文書応急処置 広
島県立文書館と広島大 地域・行政の記録守る」と報道)
- 7月26日(木) 被災した広島市安芸区の前酒屋文書を救助するため文書館へ運搬(8月2日も,三浦・西向,
広島大学文書館との協定による救助を実施)
荷解室の除湿機にホースを取り付けて,室外への連続排水を開始
- 7月27日(金) 被災した呉市立音戸小学校文書を救助するため文書館へ運搬(三浦,10月20日返却)
救助作業に使用するため,県庁で古紙回収される古新聞を大量に入手
- 7月28日(土) 古文書解読入門講座(第4回)
- 7月30日(月) 吉川圭太氏(神戸大学)・天野真志氏(国立歴史民俗博物館)・吉原大志氏(兵庫県立歴史博

- 物館)・安田容子氏(宮城歴史資料保全ネットワーク)らが被災資料救援を指導(～31日)
被災資料の一部を冷凍保存するため、広島市内の冷凍倉庫へ運搬(8月2日も、荒木・三浦)
広島県港湾振興事務所で文書選別(8月28日、10月12日も、荒木・三浦)
- 7月31日(火) 被災した呉市立安浦小学校文書を救助するため文書館へ運搬(三浦、10月10日返却)
- 8月1日(水) 読売新聞社の記者が被災資料救済作業を取材(15日付けで「救え 泥まみれの古文書」と報道)
- 8月2日(木) 公用車(マツダ・スクラムバン)のリース期間が満了し、同型の新公用車の使用を開始
宮原文書調査員と安芸郡熊野町の郷土史研究会会員が書庫見学
- 8月3日(金) 松田家文書(201813)の寄贈受入れ(6日も)
(株)資料保存機材から被災文書救援用に大量のモルデナイベの提供を受ける
- 8月6日(月) 2018年度著作権セミナーを受講(岡山市、土井・長谷川・高夫)
- 8月8日(水) 国文学研究資料館の青木睦准教授から、被災文書救援の技術的指導を受ける
- 8月9日(木) (株)広島銀行職員3名が、「広島銀行『創業百年史』編纂資料」の収納状況を調査
- 8月16日(木) 橋本唯子氏(和歌山大学)から被災文書救援の技術的指導を受ける
- 8月17日(金) 被災した三原市本郷公民館の文書を調査し文書館へ運搬(12月19日返却)。船木公民館で調査した後、被災した霹靂神社文書(201814)の寄贈受入れ(三浦・西向・下向井)
- 8月18日(土) 古文書解読入門講座(第5回)
- 8月20日(月) 廃棄予定の行政文書から行政資料抜き取り作業(～22日、県庁、荒木・三浦・嘱託員3名)
- 8月21日(月) 被災した三原市大草公民館の文書を救助するため、文書館へ運搬(西村、12月19日返却)
全史料協会長で岡山県記録資料館の定兼館長が被災文書救助作業視察のため来館
- 8月22日(火) 抜き取り作業で収集した行政資料を文書館へ運搬(三浦)
- 8月24日(木) 東広島市の松田家で、寄贈された松田家文書の聞き取り調査(西村)
- 8月27日(月) 国立公文書館「アーカイブズ研修Ⅰ」を受講(～31日、宇都)
地下書庫と事務室で空中浮遊菌調査を実施(業者委託)
- 8月29日(水) 友久武文資料(201815)の寄贈、植田静人氏収集文書の追加寄贈受入れ。広島市安佐北区から文書館へ運搬(西村)
- 8月31日(金) 広文協第1回研修会について三次市役所で同市総務課と協議(荒木・三浦)
- 9月1日(土) 古文書解読入門講座(第6回)
- 9月5日(水) (独)国立文化財機構・奈良文化財研究所の高妻洋成埋蔵文化財センター長が、被災資料の真空凍結乾燥調査のため来館
岡村俊治氏資料(201813)の寄贈受入れ
- 9月8日(土) 続古文書解読入門講座(第1回)開講
- 9月10日(月) 駒澤大学の熊本史雄教授と学生17人が来館・見学
- 9月12日(水) 荒木家文書(201716)の追加寄贈受入れ
- 9月15日(土) 古文書解読入門講座(第7回)
- 9月19日(水) 広島大学文書館へ出張(荒木・三浦)
- 9月20日(木) 広文協が会員の県内市町を対象に「古文書の保存・活用に関するアンケート調査」を実施
- 9月25日(火) 北部総務事務所・北部県税事務所、北部農林水産事務所から移管された文書を受け入れ、運搬(三次・庄原、荒木・三浦)
大竹市教育委員会職員が、和田家文書の保存状況調査と市重文の所有者変更手続きのため来館
- 9月27日(木) 図書館等職員著作権実務講習会を受講(～28日、京都、三浦)
- 9月29日(土) 古文書解読入門講座(第8回)
収蔵文書の紹介展「激動の時代 幕末維新の広島と古文書」展開始(～12月27日)
広島県立文書館開館30周年・広島県立図書館新館開館30周年記念事業及び明治150年事業
記念講演会「明治維新と広島―幕末維新时期広島藩の政治動向―」を開催
- 10月1日(月) 広島県立文書館開館30周年
- 10月4日(木) 全史料協調査・研究委員会主催の平成30年度公文書館機能普及セミナー in 静岡「災害と公文書管理」に参加(静岡市、下向井)
広島大学文書館・県庁・観音書庫へ出張(荒木・三浦)

- 10月5日(金) 第4書庫の固定書架の一部を白木書庫へ移設(業者委託, 三浦立合い)
- 10月7日(日) 第4書庫の一部にハンドル式移動式書架を設置(～9日)
- 10月10日(水) 第4・第5書庫の床を清掃
- 10月12日(金) 広島大学・広島港湾振興事務所・観音書庫・県庁へ出張(荒木・三浦)
- 10月13日(土) 古文書解読入門講座(第9回)
- 10月15日(月) 広島県情報プラザ火災・防災訓練
- 10月16日(火) 広島大学日本史研究室で資料集の校正(東広島, 西村)
- 10月20日(土) 続古文書解読入門講座(第2回)
- 10月22日(月) 中国・四国地区文書館等職員連絡会議に出席(～23日, 鳥取, 三浦)
- 10月24日(水) 広文協第1回研修会(三次市, 角・三浦・西向)
九州国立博物館「IPMセミナー」に参加(太宰府市, 日高・土井)
- 10月25日(木) 九州国立博物館「IPM研修」を受講(～26日, 太宰府市, 日高・土井)
県庁で選別した行政文書を観音書庫へ運搬(業者委託, 三浦立合い)
- 10月26日(金) 長船友則氏収集資料(200407)の追加寄託を受入れ, 文書館へ運搬(11月21日も, 西向・三浦)
県教委文化財課を通じ, 長田家文書(201817)の寄贈受入れ
- 10月27日(土) 古文書解読入門講座(第10回)及び修了式
- 10月31日(水) 奈良文化財研究所「文化財等防災ネットワーク研修」を受講(～11月1日, 奈良市, 下向井)
- 11月2日(金) 旧蔵者の要望により箕浦家文書(201503)を返却(西村)
- 11月8日(木) 第44回全史料協大会に出席し, ポスターセッションで「西日本に豪雨災害における被災文書の保全活動」を発表(～9日, 那覇市, 西向)
第44回全史料協大会で, 安藤福平元副館長が会員表彰を受ける
- 11月9日(金) 広島大学・県立図書館・県立文書館「古典の日」連携事業「地域アカデミー2018」第1回を当館で開催(第2回は10日に開催)
井東外次郎収集文書(201818)の寄贈受入れ
- 11月15日(木) 県立図書館で開催された中国地区図書館郷土資料担当者会議の参加者が当館書庫を見学
- 11月16日(金) 美濃家文書(201613)の追加寄贈受入れ
- 11月17日(土) 続古文書解読入門講座(第3回)
全国史料ネット研究交流集会に参加し, 「広島県における「平成30年7月豪雨」被災文書の保全活動」を報告(～18日, 新潟市, 西向)
- 11月20日(火) 広島港湾振興事務所から移管された文書を受け入れ, 運搬(荒木・三浦)
- 11月24日(土) 頼山陽史跡資料館主催の「城下町ウォーク」参加者が当館の展示を見学
所蔵者の要望により井上家文書(200709)の一部を寄託者へ返却
- 11月29日(木) 行政文書・古文書保存管理講習会と第2回広文協役員会を開催
『広文協通信』第34号発行
- 12月6日(木) 読売新聞社の記者が, 被災資料の解凍作業について取材(11日も, 12日付け読売新聞・広島版に「豪雨被災の古文書 解凍」「県立文書館 修復進む」の見出しで掲載)
井上家文書(200709)追加寄託
- 12月7日(金) 西部建設事務所安芸太田支所から移管された文書を受け入れ, 運搬(安芸太田町, 荒木・三浦)
- 12月10日(月) 多数のボランティアの援助を得て, 凍結させた被災文書の解凍・乾燥作業を実施(～13日)
中国新聞記者が, 被災資料の解凍作業について取材(11日付けで, 中国新聞朝刊・広島都市圏欄に「被災文書修復進む」「県立文書館が解凍・乾燥」の見出しで掲載)
- 12月13日(木) 市町行政課から移管された行政文書・図書を受入れ, 運搬(1月17日も)
- 12月14日(金) 広島銀行職員が第4書庫で「広島銀行創立100年資料」を調査
インフォメーションシートをロビーに配置
今津隆氏文書(201819)の寄贈受入れ
- 12月15日(土) 続古文書解読入門講座(第4回)
- 12月18日(火) ナショナル・ジオグラフィック・トラベラー誌記者とせとうち観光推進機構職員に『日本鳥瞰

中国四国大図絵』について解説（県立図書館，西向）

- 12月19日(水) 三原市教委文化課職員が来館し，三原市の被災資料を返却
- 12月26日(水) 館内各書庫を清掃
- 12月28日(金) 『広島県立文書館紀要』第14号発行
- 1月7日(月) 冷凍保存した被災文書の一部を真空凍結乾燥させるため，広島市内の冷凍倉庫から奈良文化財研究所へ発送（三浦・西向，3月26日返却受領）
- 1月9日(水) 被災文書の真空凍結乾燥調査研究のため奈良文化財研究所へ出張（奈良，西向）
- 1月12日(土) 広島歴史資料ネットワーク総会が当館研修室で開催
- 1月15日(火) 榎林家文書（201820）の寄贈受入れ（2月20日に追加）
- 1月19日(土) 収蔵文書の紹介展「戦後広島県教育の軌跡」と常設展開始（～3月16日）
続古文書解読入門講座（第5回）
- 1月21日(月) 音戸小学校・安浦小学校・三原市中央図書館で返却文書の確認（荒木・三浦）
- 1月24日(木) 尾道農林事務所から移管された行政文書を受入れ，運搬（尾道，荒木・三浦）
- 1月25日(金) 教育委員会で文書選別作業（角・荒木・三浦・神原）
経営革新課から行政資料を受領し運搬（三浦・日高）
- 1月30日(水) 富山県公文書館で全史料協広報広聴委員会の事務引継ぎ（～31日，富山，西向・宇都）
- 1月31日(木) 広文協第2回研修会を当館で開催
藤井家文書（201821）の寄贈受入れ
- 2月1日(金) 観音書庫ブロック塀の改修工事（～15日）
- 2月4日(月) 文書整理臨時職員を雇用（～3月29日，学生3名を雇用）
- 2月5日(火) 広島県歴史民俗資料館等連絡協議会第76回研究会に出席（東広島市，三浦）
- 2月6日(水) 「平成31年度広島県庁舎耐震改修工事に伴う仮移転業務に係る職員説明会」で「移転に伴う保管文書の適切な取扱いについて」説明（3月26日も，県庁，荒木）
- 2月16日(土) 続古文書解読入門講座（第6回）
- 2月21日(木) 吉村家文書の追加寄贈受入れ
- 2月25日(月) 7月豪雨で被災した呉市安浦町の岡田家文書を救助するため文書館へ運搬（3月1日も，三浦・西向）
- 2月26日(火) 安田容子氏・天野真志氏らが被災資料救援を指導（～27日）
- 2月27日(水) 文化財虫菌害研究所「第40回文化財虫菌害防除作業に関する講習会」を受講（～28日，東京，長谷川）
第5書庫のオートスタック（密集書架）を修理（業者委託）
- 3月5日(火) 被災資料救援ボランティアの意見交換会（7日も）
- 3月7日(木) 監査委員事務局の図書及び市町行財政課の残りの長期保存文書
- 3月8日(金) 『広島県立文書館だより』第43号発行
- 3月10日(日) 神奈川大学日本常民文化研究所の「古文書修復実習」を受講（～11日，横浜，下向井）
- 3月12日(火) 県議会事務局議事課職員3名が来館し，「県議会文書」の追加移管について協議
元広島県史編さん室員の土井作治氏宅で調査（西向）
- 3月16日(土) 続古文書解読入門講座（第7回）及び修了式
- 3月20日(水) 奥一浩氏所蔵文書（201823）寄贈受入れ
- 3月26日(火) 佐川延一氏収集文書（201824）寄贈受入れ
- 3月29日(金) 収蔵文書展「古文書にみる広島藩士の肖像」展開始（～6月8日），展示図録を発行
- 3月31日(日) 『広文協通信』第35号発行

Ⅲ 法律・条例・規則

1 公文書館法

昭和 62 年 法律第 115 号
最終改正 平成 11 年 法律第 161 号

(目的)

第 1 条 この法律は、公文書等を歴史資料として保存し、利用に供することの重要性にかんがみ、公文書館に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

第 2 条 この法律において「公文書等」とは、国又は地方公共団体が保管する公文書その他の記録(現用のものを除く。)をいう。

(責務)

第 3 条 国及び地方公共団体は、歴史資料として重要な公文書等の保存及び利用に関し、適切な措置を講ずる責務を有する。

(公文書館)

第 4 条 公文書館は、歴史資料として重要な公文書等を保存し、閲覧に供するとともに、これに関連する調査研究を行うことを目的とする施設とする。

2 公文書館には、館長、歴史資料として重要な公文書等についての調査研究を行う専門職員その他必要な職員を置くものとする。

第 5 条 公文書館は、国立公文書館法(平成 11 年法律第 79 号)の定めるもののほか、国又は地方公共団体が設置する。

2 地方公共団体の設置する公文書館の当該設置に関する事項は、当該地方公共団体の条例で定めなければならない。

(資金の融通等)

第 6 条 国は、地方公共団体に対し、公文書館の設置に必要な資金の融通又はあっせんを努めるものとする。

(技術上の指導等)

第 7 条 内閣総理大臣は、地方公共団体に対し、その求めに応じて、公文書館の運営に関し、技術上の指導又は助言を行うことができる。

附 則

(施行期日)

1 この法律は、公布の日から起算して 6 月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

(専門職員についての特例)

2 当分の間、地方公共団体が設置する公文書館には、第 4 条第 2 項の専門職員を置かないことができる。

(総理府設置法の一部改正)

3 総理府設置法(昭和 24 年法律第 127 号)の一部を次のように改正する。

第 4 条第 7 号の次に次の 1 号を加える。

7 の 2 公文書館法(昭和 62 年法律第 115 号)の施行に関すること。

附 則(平成 11 年 12 月 22 日法律第 161 号)抄

(施行期日)

第 1 条 この法律は、平成 13 年 1 月 6 日から起算して 6 月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

2 広島県立文書館設置及び管理条例

(昭和 63 年広島県条例第 1 号)

(設置)

第 1 条 県に関する歴史的資料として重要な行政文書、古文書その他の記録(以下「文書等」という。)を収集し、及び保存するとともに、これらの利用を図り、もって学術及び文化の発展に寄与するため、広島県立文書館(以下「文書館」という。)を設置する。

(位置)

第 2 条 文書館の位置は、広島市中区千田町三丁目とする。

(業務)

第 3 条 文書館は、次の業務を行う。

(1) 文書等の収集、整理及び保存に関すること。

(2) 文書等の利用に関すること。

(3) 文書等の調査及び研究に関すること。

(4) 文書等についての専門的な知識の普及啓発に関すること

(5) 文書等の目録、史誌、資料集等の編さん及び刊行に関すること

(6) その他文書館の目的を達成するために必要な事業に関すること

(職員)

第 4 条 文書館に、館長その他必要な職員を置く。

2 館長は、文書館の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

(委任規定)

第 5 条 この条例に定めるもののほか、文書館の内部組織その他管理に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して 8 月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(昭和 63 年 9 月広島県規則第 59 号で、同 63 年 10 月 1 日から施行)

3 広島県立文書館管理規則

昭和 63 年広島県規則第 60 号

最終改正 平成 5 年広島県規則第 89 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、広島県立文書館(以下「文書館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 文書館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、土曜日の開館時間は、午前 9 時から正午までとする。

2 文書館の長(以下「館長」という。)は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を臨時に変更することができる。

3 館長は、前項の規定により文書館の開館時間を臨時に変更しようとするときは、あらかじめその旨を文書館に掲示するものとする。

(休館日等)

第3条 文書館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3) 1月2日から同月4日まで及び12月28日から同月31日まで

2 館長は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

3 館長は、前項の規定により臨時に休館し、又は開館しようとするときは、あらかじめその旨を文書館に掲示するものとする。

(遵守事項)

第4条 文書館においては、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 1 広島県立文書館設置及び管理条例（昭和63年広島県条例第1号）第1条に規定する文書等（以下「文書等」という。）又は文書館の施設若しくは設備を亡失し、き損し、又は汚損しないこと。
- 2 他人に危害を及ぼし、迷惑を掛ける行為その他文書館の秩序を乱す行為をしないこと。
- 3 職員の指示に従うこと。

(禁止行為)

第5条 文書館においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、館長の許可を受けた場合は、この限りでない。

- (1) 寄付の募集
- (2) 爆発物その他危険物の持ち込み
- (3) 行商その他これに類する行為
- (4) 宣伝その他これに類する行為
- (5) 広告物の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

(入館の制限等)

第6条 館長は、前2条の規定に違反するおそれのある者又はこれらの規定に違反した者に対して、文書館への入館を拒否し、又は文書館からの退去を命ずることができる。

(文書等の寄贈及び寄託)

第7条 文書館は、文書等の寄贈及び寄託を受けることができる。

2 寄託を受けた文書等は、その保管、利用等に関し、寄託者と特約がある場合を除き、文書館所蔵の文書等と同様の取り扱いをするものとする。

3 寄託を受けた文書等が天災地変その他不可抗力により損害を受けたときは、その責めを負わないものとする。

(文書等の利用の制限)

第8条 文書等のうち、次に掲げるものは、館長が学術研究上特に必要があると認めた場合を除き、利用に供しないものとする。

- (1) 個人もしくは団体の秘密保持のため、又は公益上の理由により利用に供することが不適当な文書等の全部又は一部
 - (2) 文書等の整理又は保存上支障があるもの
- 2 寄贈又は寄託を受けた文書等の利用に関し寄贈者又は寄託者と特約がある場合は、当該特約に従うものとする。

(利用券)

第9条 文書等を利用しようとする者は、別記様式第1号による文書館利用券交付申請書を館長に提出し、別記様式第2号による利用券（以下「利用券」という。）の交付を受けなければならない。

2 前項の場合において、館長は、必要と認めるときは、申請者にその身分を証明することができるものの提示を求めることができる。

3 利用券の有効期間は、交付の日から1年とする。

4 館長は、利用券の交付状況を明らかにするため、別記様式第3号による利用券交付台帳を備えなければならない。

(閲覧の手続)

第10条 文書等を閲覧しようとする者は、別記様式第4号による文書等閲覧申請書に利用券を添えて館長に提出し、閲覧しようとする文書等（以下「閲覧文書等」という。）を借り受けるものとする。

2 閲覧文書等の閲覧を終了した者は、速やかに当該閲覧文書等を返納しなければならない。

3 同時に借り受けることができる閲覧文書等は、館長が特別の理由があると認めた場合を除き、5点以内とする。

(文書等の館外貸出し)

第11条 文書等の館外貸出しは、行わないものとする。ただし、館長が特別の理由があると認めた場合は、この限りではない。

(文書等の複写)

第12条 文書等の複写を希望する者は、別記様式第5号による文書等複写申請書に利用券を添えて館長に提出し、その承認を受けなければならない。

(出版物等への掲載)

第13条 文書等の全部又は一部を出版物等に掲載しようとする者は、あらかじめ、別記様式第6号による出版物等掲載許可申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

(損害賠償義務等)

第14条 文書等又は文書館の施設若しくは設備を亡失し、き損し、又は汚損した者は、別記様式第7号による亡失等届出書を館長に提出するとともに、これを修復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(館長)

第15条 館長は、非常勤の職員をもって充てることができる。

(委任規定)

第16条 この規則の施行に関し必要な事項は、館長が定める。

附 則

この規則は、昭和63年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

4 広島県文書等管理規則（抜粋）

（平成 13 年広島県規則第 31 号）

（文書等の廃棄等）

- 第 9 条 完結文書（第 7 条第 2 項の規定により決定された保存年限が 30 年である完結文書（第 4 項において「30 年保存文書」という。）を除く。）の保存年限が満了したときは、書庫に収蔵したものにあっては総務課長等において、その他のものにあっては主務取扱主任において廃棄するものとする。
- 2 主務取扱主任は、保存年限満了前に完結文書を廃棄しなければならない特別の理由が生じたときであっても、総務課長等の承認を得なければ、当該完結文書を廃棄することができない。
- 3 総務課長等又は主務取扱主任は、前 2 項の規定により完結文書を廃棄しようとするときは、当該完結文書を広島県立文書館（以下「文書館」という。）で保存することの適否について文書館の長（以下「文書館長」という。）の審査を受けなければならない。
- 4 総務課長等又は主務取扱主任は、保存年限の満了した 30 年保存文書及び前項の審査により文書館で保存すると決定された完結文書については、それらの文書が法令により廃棄しなければならないとされている場合等特別の理由がある場合を除き、文書館長に引き渡さなければならない。

附 則（平成 24 年 4 月 1 日規則第 35 号）抄
（経過措置）

- 2 この規則による施行前に主務取扱主任が決定した保存年限が長期である文書等の管理については、なお従前の例による。ただし、当該文書のうち、完結年度の翌会計年度の 4 月 1 日から起算して 30 年を経過する完結文書については、総務課長等又は主務取扱主任は、当該完結文書が法令により廃棄しなければならないとされている場合等特別の理由がある場合を除き、文書館長に引き渡すよう努めるものとする。

5 広島県文書等管理規程（抜粋）

（平成 13 年広島県訓令第 5 号）

（文書等の廃棄等）

- 第 43 条 総務課長等及び主務取扱主任は、保存年限が満了した完結文書は文書館に引き渡す文書等を除き、焼却、細断等適切な措置を講じた上で廃棄するものとする。ただし、電磁的記録については、磁気ディスク等に記録されている当該電磁的記録を消去する方法により廃棄するものとする。
- 2 総務課長等又は主務取扱主任が保存年限が満了した完結文書を文書館で保存することの適否について規則第 9 条第 3 項の規定により審査を受けるときは、当該完結文書の目録の写しを文書館長に送付するものとする。
- 3 文書館長は、前項の規定による審査の結果、文書館において保存しようとする廃棄予定文書については、別記様式第 11 号による廃棄予定文書保存通知書を作成し、総務課長等又は主務取扱主任に通知するものとする。

＝ 利用案内 ＝

1 開館時間

- ・月～金曜日 9時～17時
- ・土曜日 9時～12時

2 休館日

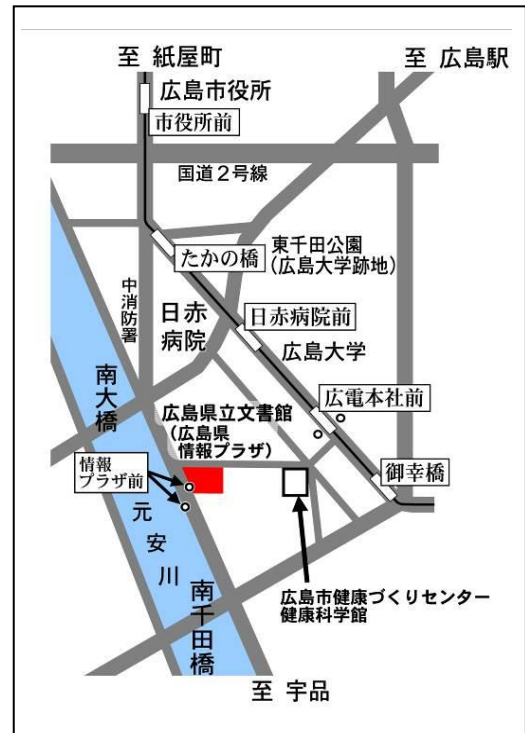
- ・日曜日，国民の祝日・休日
- ・年末年始（12月28日～1月4日）

3 閲覧の仕方

- ・初めて利用される方は閲覧室のカウンターで利用券の交付を受けてください。
- ・目録やカードで必要な文書を検索し，閲覧申請書に必要事項を記入してカウンターに出してください。
- ・一度に利用できる文書は，5点までです。
- ・文書の検索や利用について分からないことがあればカウンターでお尋ねください。

4 資料の複写等

- ・文書・図書の館外貸出しは行いません。
- ・文書の複写は，別に許可が必要です。カウンターで所定の手続をしてください。
- ・複写は，実費をいただきます。



交通 JR 広島駅から
広島港行（ベイシティ宇品経由）バス
…広島県情報プラザ前下車
広島港行（紙屋町経由）路面電車
…広電本社前下車約 500m
広島県情報プラザ内駐車場 利用可能（有料）

広島県立文書館事業年報 第 30 号

（平成 30 年度分）

（令和元年 7 月発行）

編集・発行 広島県立文書館

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 7-47
広島県情報プラザ内
TEL 082(245)8444
FAX 082(245)4541

広島県立文書館ホームページ : <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/monjokan/>

E メールアドレス : monjokan@pref.hiroshima.lg.jp